

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第4週 >

インフルエンザの定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.7-8

< 麻しん 2013年第48週～2014年第4週の輸入例の増加 >

2014年第1～4週の累積報告数は46例であり、昨年同時期より大きく増加している



病原体情報
P.9-11

感染性胃腸炎関連ウイルス 2013/14シーズン



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報
P.12-23

鳥インフルエンザA(H5N1)に感染した患者の発生状況について / 鳥インフルエンザA(H9N2)に感染した患者の発生状況について / 世界におけるインフルエンザの流行状況について / 鳥インフルエンザA(H7N9)の発生状況について / 中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について



感染症の話
P.24

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(4週)
P.25-31



4週のデータ
P.32-45

 **発生動向総覧**

< 第4週コメント > 1月29日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核315例

3類感染症

細菌性赤痢2例 菌種: *S. flexneri*(B群) 2例__感染地域: インド1例、パキスタン1例
腸管出血性大腸菌感染症8例(有症者6例、うちHUSなし)

感染地域: 国内8例

国内の感染地域: 福岡県2例、宮城県1例、愛知県1例、大阪府1例、島根県1例、佐賀県1例、長崎県1例

年齢群: 7歳(1例)、10代(1例)、20代(2例)、40代(2例)、60代(2例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(2例)、O157 VT2(2例)、O26 VT1(1例)、O29 VT2(1例)、O157 VT1(1例)、その他・不明(1例)

累積報告数: 28例(有症者21例、うちHUS 2例、死亡なし)

腸チフス1例

感染地域: インド

パラチフス1例

感染地域: ベトナム

4類感染症

E型肝炎4例

感染地域(感染源): 東京都2例(豚肉1例、不明1例)、栃木県1例(不明)、広島県1例(不明)

A型肝炎2例

感染地域: 徳島県1例、フィリピン1例

デング熱3例(デング熱2例、デング出血熱1例)

感染地域: マレーシア2例、フィリピン1例

レジオネラ症16例(肺炎型15例、ポンティアック型1例)

感染地域: 東京都3例、兵庫県3例、大阪府2例、茨城県1例、千葉県1例、富山県1例、長野県1例、愛知県1例、熊本県1例、国内(都道府県不明)1例、トルコ1例

年齢群: 50代(1例)、60代(3例)、70代(10例)、80代(2例)

5類感染症

アメーバ赤痢12例(腸管アメーバ症11例、腸管外アメーバ症1例)

感染地域: 東京都3例、大阪府2例、宮城県1例、福島県1例、熊本県1例、国内(都道府県不明)2例、フィリピン1例、エジプト1例

感染経路: 性的接触4例(異性間3例、異性間・同性間不明1例)、不明8例

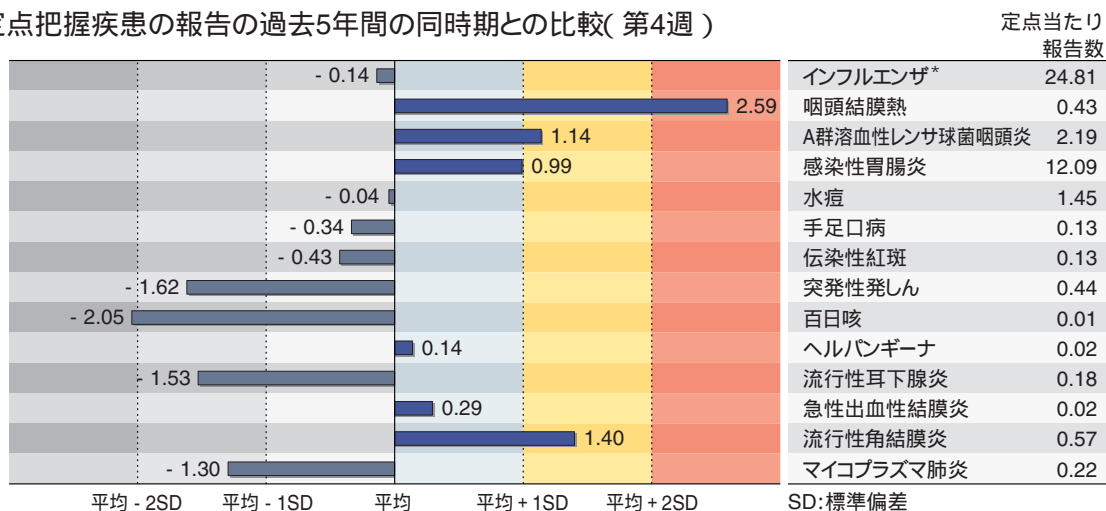
- ウイルス性肝炎3例 B型2例__感染経路:性的接触1例(異性間)、不明1例
C型1例__感染経路:性的接触(異性間)
- 急性脳炎10例 インフルエンザウイルスA型3例__年齢群:7歳(2例)、80代(1例、死亡)
インフルエンザウイルスB型4例__年齢群:7歳(1例)、10代(2例)、40代(1例、死亡)
インフルエンザウイルス型不明1例__年齢群:6歳
病原体不明2例__年齢群:1歳(2例)
- クロイツフェルト・ヤコブ病1例
孤発性プリオン病古典型
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例
年齢群:60代(1例)、80代(2例)
- 後天性免疫不全症候群16例(AIDS 7例、無症候9例)
感染地域:国内13例、国内/台湾/フィリピン/ハワイ1例、タイ1例、国外(国不明)1例
感染経路:性的接触15例(異性間8例、同性間7例)、不明1例
- ジアルジア症1例 感染地域:福岡県
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症4例(菌検出検体:血液4例)
年齢群:60代(1例)、70代(1例)、80代(1例)、90代(1例)
- 侵襲性髄膜炎菌感染症1例(菌検出検体:血液)
感染地域:茨城県
年齢群:10代(死亡)
- 侵襲性肺炎球菌感染症15例(菌検出検体:血液11例、血液・髄液4例)
年齢群:1歳(4例)、5歳(1例)、40代(1例)、50代(1例)、60代(2例)、70代(4例)、80代(1例)、90代(1例)
- 梅毒13例(早期顕症I期1例、早期顕症II期3例、晚期顕症1例、無症候8例)
- バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例
遺伝子型:不明__菌検出検体:中心静脈栄養カテーテル先
- 風しん9例(検査診断例5例、臨床診断例4例)
感染地域:東京都3例、神奈川県2例、愛知県1例、国内(都道府県不明)3例
年齢群:4歳(1例)、20～24歳(1例)、25～29歳(1例)、30～34歳(1例)、40代(3例)、50代(2例)
累積報告数:32例(検査診断例21例、臨床診断例11例)
- 麻しん18例〔麻しん(検査診断例12例、臨床診断例5例)、修飾麻しん1例〕
感染地域:京都府5例、愛知県2例、埼玉県1例、神奈川県1例、国内(都道府県不明)1例、フィリピン7例、インドネシア1例
年齢群:0歳(3例)、1歳(1例)、2歳(2例)、3歳(1例)、5～9歳(2例)、15～19歳(1例)、20～24歳(2例)、25～29歳(1例)、35～39歳(1例)、40代(3例)、60代(1例)
累積報告数:46例〔麻しん(検査診断例31例、臨床診断例14例)、修飾麻しん1例〕

(補) 2013年第4週から2014年第3週までに診断されたものの報告遅れとして、腸チフス1例(感染地域: 東京都)、E型肝炎2例(感染地域(感染源): 神奈川県1例(豚肉)、国内(都道府県不明)1例(不明))、急性脳炎5例(インフルエンザウイルスA型1例__年齢群: 3歳、単純ヘルペスウイルス1例__年齢群: 70代、病原体不明3例__年齢群: 1歳(1例)、4歳(2例))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例(40代(1例)、70代(1例))、先天性風しん症候群1例(典型例__感染地域: 神奈川県)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第4週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(54.12)、大分県(39.62)、宮崎県(37.86)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は807例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(75例)、1～9歳(232例)、10代(45例)、20代(17例)、30代(25例)、40代(22例)、50代(37例)、60代(76例)、70代(118例)、80歳以上(160例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの)

RSウイルス感染症の報告数は2,018例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は島根県(1.87)、鹿児島県(1.51)、鳥取県(1.21)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山形県(6.40)、新潟県(5.49)、鳥取県(4.32)である。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(21.44)、鹿児島県(21.25)、富山県(20.24)である。

水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は新潟県(3.08)、岩手県(3.03)、宮崎県(3.00)である。

手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.61)、熊本県(1.06)、福岡県(0.65)である。

百日咳の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.09)、徳島県(0.04)、茨城県(0.03)である。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は熊本県(0.26)、佐賀県(0.13)、大分県(0.11)である。

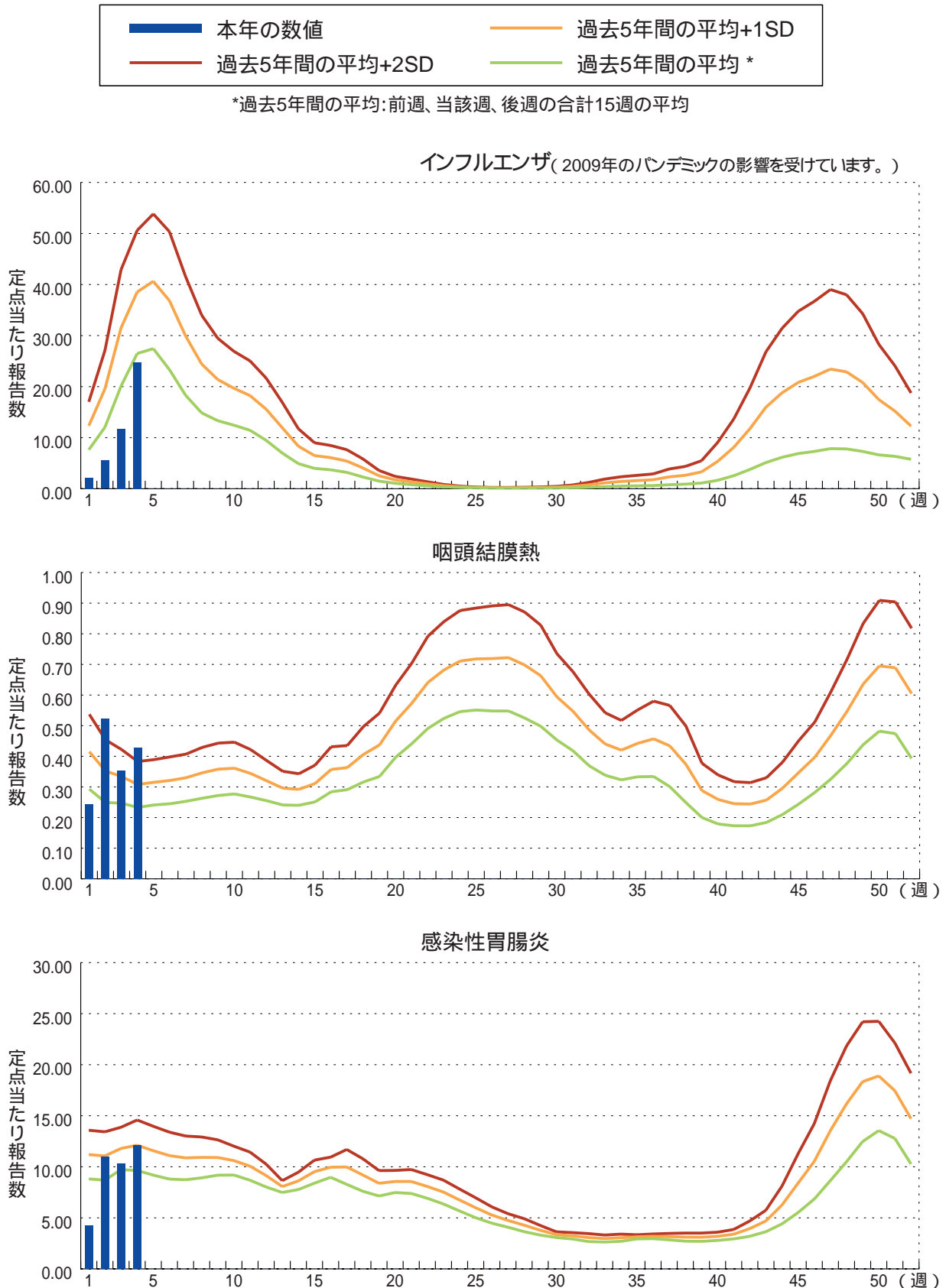
基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は富山県(1.20)、宮城県(0.75)、福島県(0.71)、沖縄県(0.71)である。

感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)は第1週以降増加が続いている。都道府県別では24都道府県から68例報告があり、年齢別では0歳(15例)、1～4歳(46例)、5～9歳(6例)、10代(1例)であった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2014年第4週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





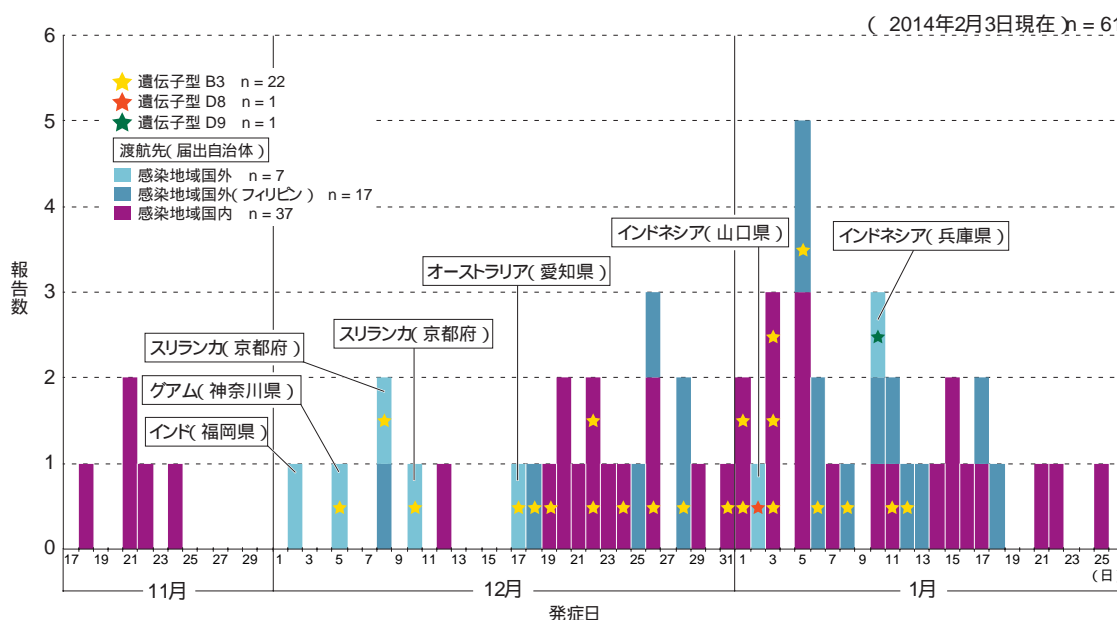
注目すべき感染症

麻疹 2013年第48週～2014年第4週の輸入例の増加

麻疹の2014年第1～4週(2013年12月30日～2014年1月26日に診断されたもの)の累積報告数は46例であり、麻疹速報グラフ第4週: <http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/diseases/measles/measles2014/meas14-04.pdf> (昨年同時期より大きく増加している。2014年の麻疹ウイルスの遺伝子型は16例で報告されている(2014年2月3日現在)。詳細は「麻疹ウイルス分離・検出状況: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-measles.html>」などを参考にしていきたい。

2013年第48週～2014年第4週(2013年11月25日～2014年1月26日)に診断された麻疹(2014年2月3日現在)は61例であり、前年同時期の26例よりも倍増した。性別では男性32例、女性29例であり、平均年齢は17.0歳(中央値15歳、5カ月～60歳)であった。遺伝子型別が判明したものが24例含まれ、B3型22例、D8型1例、D9型1例であった(図)。

図. 麻疹の感染地域別・遺伝子型別・発症日別報告数(2013年11月17日～2014年1月26日)



この間の都道府県別の報告数は京都府21例、愛知県8例、神奈川県7例、東京都5例、岡山県3例、埼玉県、千葉県、兵庫県、広島県、福岡県各2例、新潟県、静岡県、三重県、滋賀県、大阪府、山口県、宮崎県各1例であった。感染地域は国内が37例(61%)であり、国外が24例(39%: フィリピン17例、スリランカ2例、インドネシア2例、グアム1例、インド1例、オーストラリア1例)と報告され、フィリピンが最多であった。ワクチン接種歴別報告数では、61例中接種歴のない、または不明の症例が52例(85%)であった。

2013年末から2014年初頭の発生動向で特記すべきこととして、輸入例の増加が続いていることが挙げられる。感染地として海外が推定されていた症例の、2013年第1～47週の週当たり平均報告数は0.32例であったが、2013年第48週～2014年第4週では2.7例に増加した。

麻疹は、年齢にかかわらず命に関わる重篤な感染症である。また、特異的な治療法はないものの、予防接種で予防可能な感染症である。我が国は2012年までの麻疹排除を国としての目標に掲げ、2007～2008年頃の10代を中心とする患者発生の状況から約97%の減少を達成し、

2015年の麻疹排除認定の取得を次の目標としている。今後も輸入例の動向を注意深く監視すると共に、輸入例からの国内二次感染等に対する警戒が重要である。そのためには、「一例出たらすぐ対応」の原則に則った迅速な疫学調査の実施が鍵であるとともに、感受性者、特に定期接種(1歳、小学校就学前1年間)対象者における麻疹含有ワクチン(原則として麻疹風しん混合ワクチン)接種の徹底が必要である。

さらに、海外渡航歴のある、あるいは関連している症例が増加しており、感染性がある期間に航空機に搭乗していたと考えられた症例も複数報告されている*。医療機関においては、発熱・発疹者に対する聞き取りにおいては、渡航歴や麻疹様患者との接触歴、予防接種歴などの確認を慎重に行うことが望まれる。

海外への渡航者は、自分のワクチン接種歴を確認の上、必要なワクチン接種を行い、持ち込まないことが大切である。また、麻疹の疑われる体調不良があった場合は、二次感染防止のため、麻疹の疑いがあることを予め医療機関に伝えた上で受診することが望ましい。

麻疹のこれまでの発生状況や疾患の説明は、<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html> をご参照ください。

* 欧州疾病対策センター(ECDC)は「航空機内での麻疹伝播に関するリスク評価ガイドライン(抄訳)」を公表している。(<http://www.nih.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/pdf/20140205/koukuuki.pdf>)

国立感染症研究所感染症疫学センター

高橋琢理 砂川富正 木下一美 加納和彦 伊東宏明
中島一敏 新井 智 佐藤 弘 多屋馨子 大石和徳



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>)からの引用です。

国立感染症研究所・感染症疫学センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

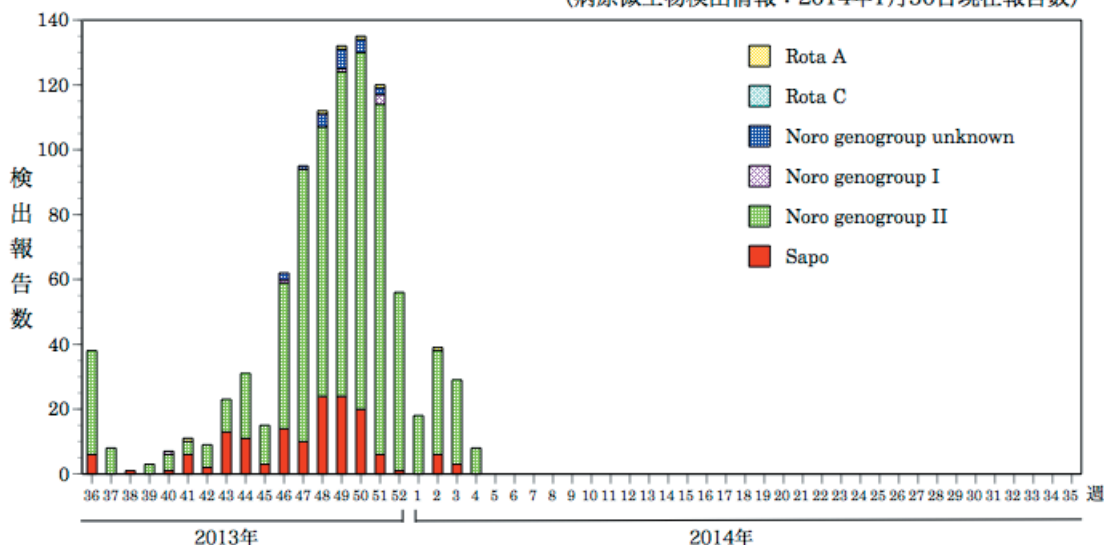
(2014年1月30日現在報告分)

感染性胃腸炎関連ウイルス 2013/14シーズン

2013/14シーズン(2013年第36週/9月～)は、第36週からノロウイルス、サポウイルスなどの検出が報告されており、第46週(11/11-17)以降ノロウイルスの検出報告が増加している。

週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、2013/14シーズン

(病原微生物検出情報: 2014年1月30日現在報告数)



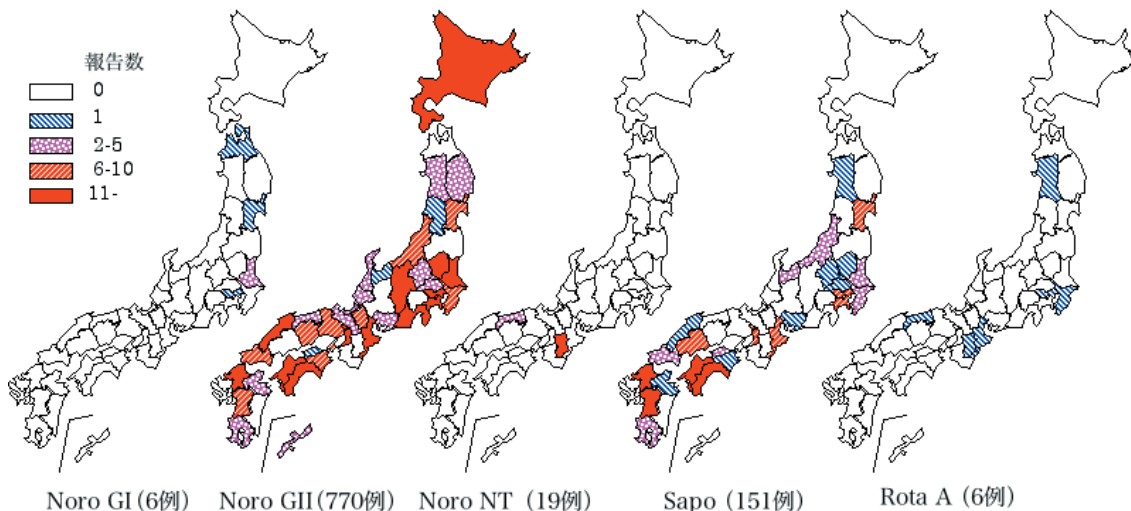
*各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

病原体個票では2013年第36週(9/2-8)~ 2014年第4週(1/20-26) 検体採取週)までに、ノロウイルスgenogroup(G)IIが37都道府県から770例、ノロウイルスGIが4都県から6例、ノロウイルスgenogroup不明(NT)が2県から19例、サポウイルスが25都府県から151例、A群ロタウイルスが6都県から6例報告されている。この他に、アストロウイルスが5府県から11例報告されている。

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2013/14シーズン
(病原微生物検出情報：2014年1月30日現在報告数)

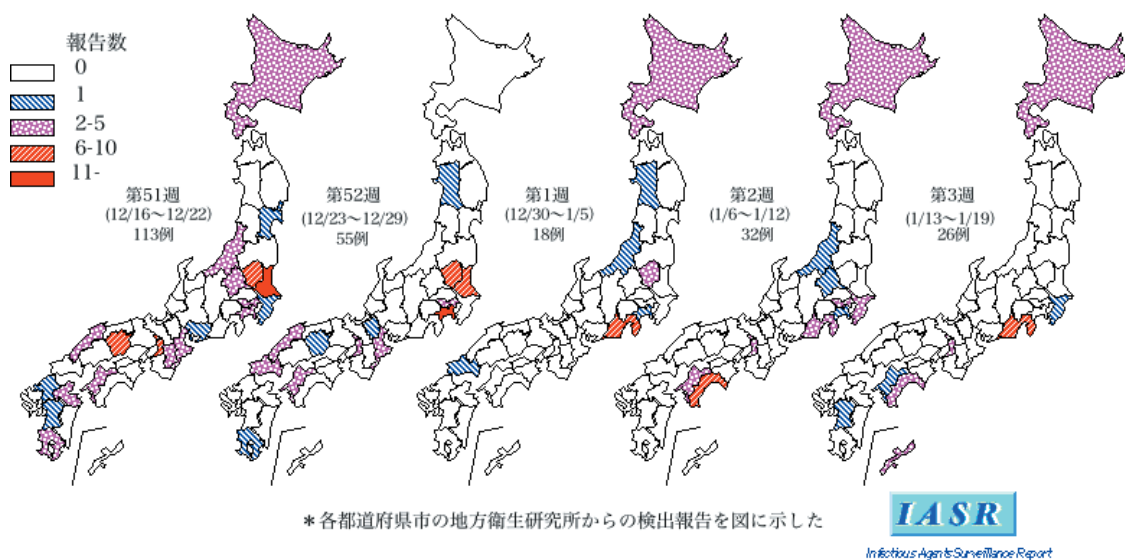


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



2013年第51週(12/16-22)～第3週(1/13-19)の5週間では、ノロウイルスが26都道府県から244例(茨城県61例、神奈川県28例、北海道、栃木県、静岡県各19例、大阪府14例、高知県11例、東京都、愛媛県各10例など)、サポウイルスが8府県から16例(高知県7例、愛媛県3例など)、A群ロタウイルスが2例(秋田県、千葉県各1例)、アストロウイルスが大阪府から1例報告されている。

週別都道府県別ノロウイルス検出報告状況、2013年第51週～2014年第3週
(病原微生物検出情報：2014年1月30日現在報告数)



上記ノロウイルスの報告には、飲食店、保育所、幼稚園、小学校、老人施設、福祉・養護施設などにおける感染性胃腸炎の集団発生や、飲食店、ホテル、宴会場などにおける食中毒や有症苦情からの検出が含まれている。

ノロウイルス検出速報は <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html> を参照ください。



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

鳥インフルエンザA(H5N1)に感染した患者の発生状況について(更新1)

2014年1月24日 WHO

世界保健機関(WHO)の情報によりますと、鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスに感染したと確定診断された患者は、1月24日時点で、15か国から650人が公式報告されています。このうち386人が死亡しています。

WHOはベトナムから鳥インフルエンザA(H5N1)に感染したと確定診断された患者が1人発生したとの報告を受けました。この患者はビン・フック(Binh Phuoc)省の52歳の男性で、1月11日に発症し、1月16日に入院しましたが、1月18日に死亡しました。この患者は鳥をと殺し、消費していました。

家きんの中でインフルエンザウイルスが循環している時は、特に家で飼育されている感染した家きんや、汚染された環境に暴露する人々の中で散発例や小規模の集団発生が発生する可能性があります。しかし、現在のところ、このインフルエンザA(H5N1)ウイルスは人の間で効率よく感染せず、このウイルスが地域レベルで拡大するリスクは依然として低いです。

鳥インフルエンザA(H9N2)に感染した患者の発生状況について

2014年1月24日 WHO

世界保健機関(WHO)の情報によりますと、WHOは中国から鳥インフルエンザA(H9N2)に感染した患者が2人発生したとの報告を受けました。

1人目の患者は、香港から報告されました。86歳の男性で、香港市民であり、広東省深圳(しんせん)市に住んでおり、基礎疾患(持病)がありました。2013年12月28日に発症し、同日に病院に入院しました。この患者の周囲の調査では、患者の他にこのウイルスに感染した患者は発見されませんでした。家きんとの接触歴や、家きんによって汚染された環境との接触歴は報告されていません。

2人目の患者は、湖南省の7歳の男児です。2013年11月19日に発症し、外来で治療を受け、11月24日に回復しました。12月31日、外来を受診中に採取された検体がインフルエンザA(H9N2)陽性となりました。調査の結果、この患者は家きんとの濃厚な接触歴がありました。この患者の接触者で、他の感染者は報告されませんでした。

アジアと中東では、家きんの中で低病原性鳥インフルエンザA(H9N2)ウイルスが循環していることが知られています。最近では、2009年12月に香港でインフルエンザA(H9N2)ウイルスに感染した患者が報告されました。インフルエンザA(H9N2)ウイルスに感染した患者のほとんどが軽症でした。

アジアと中東では、家きんの中でこのウイルスが循環しているため、今後も患者が発生したり、小規模な集団感染が発生したりすることが予想されます。しかし、このウイルスは人の間で効率よく感染せず、臨床症状は軽症であり、このウイルスが地域レベルで拡大するリスクや公衆衛生上の影響は依然として低いです。

世界におけるインフルエンザの流行状況について(更新1)

2014年1月27日 WHO

【要約】

- ・北米では、最近数週間におけるインフルエンザの活動性は依然として高く、インフルエンザ A(H1N1)pdm09が優勢でした。
- ・ヨーロッパでは、インフルエンザの活動性は若干高まっており、インフルエンザのシーズンが始まったことを示しているのかもしれませんが。
- ・中国におけるインフルエンザの活動性は高まり続けており、インフルエンザA(H1N1)pdm09、インフルエンザA(H3N2)、インフルエンザB型が伝播しています。
- ・南半球におけるインフルエンザの活動性は依然として低い水準でした。
- ・熱帯地域におけるインフルエンザの活動性は国によって異なりました。
- ・FluNet(1月23日時点)によれば、第1週から第2週(2013年12月29日から2014年1月11日)の間、72の国・地域にある国のインフルエンザ・センターやその他の国のインフルエンザ研究施設からデータが報告されました。WHO世界インフルエンザサーベイランス及び対応システム(GISRS)の検査施設では、81,261以上の検体を検査しました。インフルエンザが陽性となったのは24,494検体で、このうち22,425検体(91.6%)がインフルエンザA型で、2,069検体(8.4%)がインフルエンザB型でした。亜型が解析されたインフルエンザA型ウイルスのうち、11,033(80.5%)がインフルエンザA(H1N1)pdm09で、2,669検体(19.5%)がインフルエンザA(H3N2)でした。解析されたインフルエンザB型ウイルスのうち、220検体(84%)が山形系統で、42検体(16%)がビクトリア系統でした。
- ・鳥インフルエンザウイルスA(H7N9)に関する更新情報は、WHOのウェブサイトを参照してください。

http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/

【北半球の温帯地域】

・北米

北米では、インフルエンザの活動性は依然として高く、検出されたウイルスはインフルエンザ A(H1N1)pdm09が優勢でした。昨シーズンはインフルエンザA(H3N2)が優勢でした。

カナダでは、インフルエンザの活動性は高まり続けました。カナダにおける検査施設での検出数、入院者数、抗ウイルス薬の処方数のサーベイランス・データによれば、患者は、65歳を超える年齢層に比べ、20歳から64歳の年齢層が多くを占めており、昨シーズンと異なっています。検査施設で検出されたウイルスのうち、インフルエンザA(H1N1)pdm09が占める割合は、昨シーズンは10%でしたが、今シーズンは90%を超えました。

米国におけるインフルエンザの活動性は依然として高い水準です。1月第2週にILI(インフルエンザ様疾患)で受診した外来患者の割合は3.6%で、国の閾値である2.0%を超えました。ほとんどの地域で、インフルエンザは広範囲に広がっており、南部と南西部の数州では、ILIの活動性が高いと報告されました。肺炎及びインフルエンザによって死亡した人の割合は流行閾値を超え、インフルエンザに関連した小児の死亡者は10人と報告されました。インフルエンザでICU(集中治療室)に入院した者の割合は19.4%で、過去3シーズンの割合(15.7%、16.6%、18%)に比べ、高い水準でした。米国では、検査された検体のうち、優勢であったウイルスはインフルエンザA型であり、亜型解析された検体ではインフルエンザA(H1N1)pdm09が最も多く検出されました。

・ヨーロッパ

ヨーロッパ地域におけるインフルエンザの活動性は、最近数週間に比べ、1月初旬に若干高まっており、インフルエンザのシーズンが始まったことを示しているのかもしれませんが。ヨーロッパ全域で、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザA(H3N2)が検出されましたが、優勢であったウイルスは国によって異なりました。ほとんどの地域では、ILIとARI(急性呼吸器感染症)の受診率は依然として低い水準でした。西ヨーロッパ諸国では、過去数週間に検査で確定された入院患者数とインフルエンザによる死亡者数が増加したと報告されました。

ブルガリア、ギリシャ、ポルトガル、スペインでは、インフルエンザの伝播は中等度と報告されました。また、ポルトガル、スペイン、英国では、インフルエンザは広範囲に広がっていると報告されました。WHOヨーロッパ地域事務局に報告された検体は、インフルエンザA型ウイルスが優勢で、検査された検体の95%を占めました。亜型解析されたインフルエンザA型ウイルスのうち、インフルエンザA(H1N1)pdm09は45%で、インフルエンザA(H3N2)は55%を占めました。

・アフリカ北部、西アジア、中央アジア

中央アジアと西アジアでは、イランとトルコで、1月初旬からインフルエンザA(H3N2)の活動性の増加が報告されました。エジプトではインフルエンザA(H1N1)pdm09の活動性が高まり、トルコではインフルエンザA(H3N2)の活動性が高まりましたが、その他の国ではインフルエンザの活動性は依然として低い水準でした。

・東アジア

アジアでは、1月初旬、インフルエンザA(H1N1)pdm09が優勢でした。中国、日本、韓国でインフルエンザの活動性が高まったと報告されました。中国におけるインフルエンザの活動性は依然として高く、増加しています。中国南部ではインフルエンザA(H3N2)とインフルエンザA(H1N1)pdm09が優勢で、中国北部ではインフルエンザA(H1N1)pdm09が優勢でした。韓国では、ILIで定点医療機関を受診した患者の割合は27.3%で、国の季節性の閾値(12.1%)を超えています。

【熱帯地域】

・アメリカ大陸の熱帯地域

全体として、カリブ海諸国、中米、南米の熱帯地域におけるインフルエンザの活動性は低い水準でした。

・中部アフリカの熱帯地域

アフリカ地域では、インフルエンザの活動性は全体的に低い水準でした。エチオピアとガーナではインフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型が伝播しましたが、西アフリカではインフルエンザB型が少数検出されました。

・アジアの熱帯地域

東南アジア諸国におけるインフルエンザの活動性は、全体的に低い水準でした。太平洋諸島におけるILIの活動性は減少したか、低い水準でした。過去数週間でILIが継続したと報告されたのはミクロネシアのみでした。

【南半球の温帯地域】

南半球におけるインフルエンザの活動性は、比較的低い水準が続いており、インフルエンザA (H1N1)pdm09、インフルエンザA(H3N2)、インフルエンザB型が低い水準で伝播しました。

鳥インフルエンザA(H7N9)の発生状況について(更新12)

2014年1月27日 WHO(GAR)

1月27日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会は、鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染した患者が新たに9人発生したとWHOに報告しました。

1月26日に報告された患者の詳細は下記の通りです。

- ・浙江省湖州市の49歳の男性。1月16日に発症し、1月20日に病院に入院しました。1月23日に別の病院に転院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、家きんとの接触歴がありました。
- ・浙江省寧波市の60歳の女性で農業従事者。1月19日に発症し、1月23日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。
- ・浙江省寧波市の48歳の女性で農業従事者。1月20日に発症し、1月23日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、家きんとの接触歴がありました。
- ・江蘇省蘇州市の57歳の農業従事者。1月16日に発症し、1月19日に病院に入院しました。1月22日に別の病院に転院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。
- ・福建省泉州市の46歳の女性で農業従事者。1月18日に発症し、1月22日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、家きんとの接触歴がありました。
- ・広東省深圳(しんせん)の82歳の男性。1月11日に発症し、1月21日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。

1月27日に報告された患者の詳細は以下の通りです。

- ・江蘇省無錫市の76歳の農業従事者。1月18日に発症し、1月21日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。
- ・浙江省杭州市の40歳の男性。1月19日に発症し、1月23日に病院に入院しました。1月25日に別の病院に転院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、家きんとの接触歴がありました。
- ・浙江省湖州市の65歳の男性。1月16日に発症し、1月22日に病院に入院しました。1月23日に別の病院に転院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。

感染源は調査中です。現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

中国政府は、サーベイランス及び状況分析の強化、患者管理と治療の強化、市民とのリスクコミュニケーションや情報提供の実施、国際的な協力と情報交換の強化、科学的な研究の実施を行っています。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新2)

2014年1月27日 WHO(GAR)

1月27日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、WHOはMERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに2人発生したとの報告を受けました。

1人目の患者はサウジアラビアの保健省から報告されました。患者はリヤド(Riyadh)の54歳の男性で、2013年12月29日に呼吸器症状が出現し、2014年1月4日に入院しました。患者は集中治療室で治療を受けましたが、1月14日に死亡しました。患者の死亡後にMERSコロナウイルスに感染したと確定されました。この患者は医療従事者で、慢性疾患がありました。動物や、MERSコロナウイルスに感染したと確定された患者との接触歴はなく、渡航歴もありませんでした。調査が継続されています。

2人目の患者は、1月23日にヨルダンの保健省から報告されました。患者は48歳の男性で、2013年12月31日に発熱、乾性咳嗽(空咳)、呼吸困難、腹痛、嘔吐の症状が出現し、2014年1月9日に入院しました。容態が悪化し、1月16日に人工呼吸管理が開始されましたが、1月23日に死亡しました。1月21日に採取された検体がPCR(ポリメラーゼ連鎖反応)法でMERSコロナウイルス陽性となりました。この患者は基礎疾患(持病)があり、基礎疾患の治療を受けるため、2013年11月12日から12月25日に英国へ渡航していました。動物との接触歴はなく、過去30日間に大規模な社交行事に参加したことはないと考えられています。また、2013年12月25日から12月31日の間、クウェートから2人の客を招いていました。ヨルダンの保健当局は家族、医療従事者の経過観察を行うとともに、厳密な感染予防策を行っています。ヨルダンと英国では調査が継続されています。

全体として、2012年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は180人で、このうち77人が死亡しました。

医療機関でMERSコロナウイルスに感染するかもしれないため、感染予防・制御を強化し続ける必要があります。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。すべての医療従事者に対して感染予防・制御に関する教育と訓練を定期的にも実施すべきです。

MERSコロナウイルスの早期発見は重要ですが、特に軽症の場合や、所見が非典型的である場合など、すべての患者を確実にかつ適時に発見できるわけではありません。そのため、MERSコロナウイルスや他の病原体に感染した疑いがある患者や確定患者の有無にかかわらず、常に、どの場所でも、すべての患者に対して標準予防策を実施することが重要です。急性呼吸器感染症の症状のある患者に医療を提供する際には、飛沫予防策を追加すべきです。また、MERSコロナウイルスに感染した可能性がある患者や確定患者に医療を提供する際には、眼の防護を加えた接触予防策を追加すべきです。エアロゾル(微粒子)が発生するような処置を行う場合には、空気予防策を行う必要があります。

臨床的にも疫学的にもMERSコロナウイルスの感染が強く疑われる場合には、その患者の最初の鼻咽頭スワブ(ぬぐい液)の検査が陰性であっても、感染している可能性があるとして管理すべきです。最初の検査が陽性であれば、再検査を行うべきで、下気道からの検体が望ましいです。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症し

た患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

MERSコロナウイルスに感染して重症となるリスクが高い人は、ウイルスが存在する可能性があると思われる農場や飼育小屋を訪れる際に、動物との接触を避けるべきです。一般市民は、農場を訪れる際に、動物を触る前と触った後の定期的な手洗いを行う、病気の動物との接触を避ける、食品衛生対策を実施する等の一般的な衛生対策をしっかりと実施すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

鳥インフルエンザA(H7N9)の発生状況について(更新13)

2014年1月29日 WHO(GAR)

1月29日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会は、1月27日、鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染した患者が新たに6人発生し、このうち1人が死亡したとWHOに報告しました。

患者の詳細は下記の通りです。

- ・江蘇省蘇州市の74歳の女性で農業従事者。1月15日に発症し、1月21日に病院に入院しました。1月24日に別の病院に転院しました。現在、容態は重篤で、集中治療を受けています。この患者は、家きんとの接触歴がありました。
- ・湖南省岳陽市の58歳の女性で農業従事者。1月20日に発症し、1月25日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、家きんとの接触歴がありました。
- ・福建省廈門(アモイ)市の69歳の男性。1月17日に発症し、1月24日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、家きんとの接触歴がありました。
- ・福建省三明市の72歳の女性で農業従事者。1月21日に発症し、1月23日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、家きんとの接触歴がありました。
- ・広東省深圳(しんせん)市の77歳の女性で農業従事者。1月17日に発症し、1月23日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。
- ・広東省江門市の68歳の男性で農業従事者。1月18日に発症し、1月21日に病院に入院しましたが、1月25日に死亡しました。この患者は、家きんとの接触歴がありました。

感染源は調査中です。現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

中国政府は、サーベイランス及び状況分析の強化、患者管理と治療の強化、市民とのリスクコミュニケーションや情報提供の実施、国際的な協力と情報交換の強化、科学的な研究の実施を行っています。

中国から香港に輸入された生きた家きんから鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスが検出されたと報告されており、生きた家きんからウイルスの感染が広がる可能性はありますが、現時点では、人や動物から鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスが国際的に広がってはいません。

これまでに鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染した患者が報告された地域及びその近

隣の地域では、特に、春節(旧正月)に関連して家きんの売買や輸送が増加すると予想され、これらの地域では今後も患者が散発的に発生することが予想されます。

WHOは、鳥インフルエンザが発生している国への渡航者に対し、農場への立ち入りや、生きた家きんのいる市場での動物との接触、家きんと殺する場所への立ち入り、家きんやその他の動物の排泄物で汚染されていると考えられる地表との接触を避けるよう助言しています。また、渡航者は石鹸と水で手をよく洗い、食品の安全と衛生習慣を遵守すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

鳥インフルエンザが懸念される地域を渡航している者や、その地域から帰国した者が重症の急性呼吸器症状を発症した場合には、常に鳥インフルエンザへの感染を考慮すべきです。

WHOは、重症急性呼吸器感染症のサーベイランスを含むインフルエンザのサーベイランスの強化を継続するよう求めています。また、国際保健規則に基づき、人の感染例の報告を確実にを行うために、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討し、国の保健に関連した事前計画の実行を継続するよう求めています。

鳥インフルエンザA(H7N9)に関する指針と、現時点における技術的な情報は、WHOのホームページに掲載されています。

鳥インフルエンザA(H7N9)の発生状況について(更新14)

2014年1月30日 WHO(GAR)

1月30日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会は、1月29日、鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染した患者が新たに15人発生したとWHOに報告しました。

15人の患者のうち10人は女性です。患者の年齢層は31歳から81歳で、広東省(4人)、江蘇省(1人)、上海市(1人)、浙江省(9人)から報告されました。現在、患者のうち13人の容態は重篤です。また、患者のうち14人は家きんとの接触があったか、生きた家きんのいる市場や環境に行ったことがあったと報告されました。

患者の詳細は下記の通りです。

- ・上海市の61歳の女性で料理人。1月6日に発症し、1月20日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、家きんとの接触歴がありました。
- ・浙江省紹興市の66歳の女性。1月15日に発症し、1月17日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。
- ・浙江省杭州市の71歳の女性。1月12日に発症し、1月18日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。
- ・浙江省温州市の71歳の男性で農業従事者。1月13日に発症し、1月19日に病院に入院しました。1月21日に別の病院に転院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。
- ・浙江省寧波市の59歳の男性。1月18日に発症し、1月20日に病院に入院しました。1月22日に別の病院に転院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、家きんとの接触歴がありました。
- ・浙江省湖州市の63歳の女性で農業従事者。1月11日に発症し、1月15日に病院に入院しました。1月18日に別の病院に転院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、家きんとの

接触歴がありました。

- ・ 広東省深圳(しんせん)市の34歳の女性。1月10日に発症し、1月20日に病院に入院しました。1月21日に別の病院に転院しました。現在、容態は重篤です。
- ・ 江蘇省淮安市の53歳の男性。1月22日に発症し、1月26日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。
- ・ 浙江省杭州市の43歳の女性で農業従事者。1月23日に発症し、同日に病院に入院しました。この患者の症状は軽症です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。
- ・ 浙江省湖州市の81歳の男性で農業従事者。1月21日に発症し、1月23日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、家きんと接触歴がありました。
- ・ 浙江省湖州市の63歳の女性で農業従事者。1月22日に発症し、1月24日に病院に入院しました。1月26日に別の病院に転院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる環境に行ったことがありました。
- ・ 浙江省寧波市の57歳の男性。1月15日に発症し、1月23日に病院に入院しました。この患者の症状は軽症です。この患者は、家きんと接触歴がありました。
- ・ 広東省深圳市の43歳の女性。1月17日に発症し、1月26日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。
- ・ 広東省深圳市の41歳の女性。1月20日に発症し、1月26日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。
- ・ 広東省深圳市の31歳の女性。1月16日に発症し、1月23日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。

現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

中国政府は、サーベイランス及び状況分析の強化、患者管理と治療の強化、市民とのリスクコミュニケーションや情報提供の実施、国際的な協力と情報交換の強化、科学的な研究の実施を行っています。

中国から香港に輸入された生きた家きんから鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスが検出されたと報告されており、生きた家きんからウイルスの感染が広がる可能性はありますが、現時点では、人や動物から鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスが国際的に広がってはいません。

これまでに鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染した患者が報告された地域及びその近隣の地域では、特に、春節(旧正月)に関連して家きんの売買や輸送が増加すると予想され、これらの地域では今後も患者が散発的に発生することが予想されます。

WHOは、鳥インフルエンザが発生している国への渡航者に対し、農場への立ち入りや、生きた家きんのいる市場での動物との接触、家きんと殺す場所への立ち入り、家きんやその他の動物の排泄物で汚染されていると考えられる地表との接触を避けるよう助言しています。また、渡航者は石鹸と水で手をよく洗い、食品の安全と衛生習慣を遵守すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

鳥インフルエンザが懸念される地域を渡航している者や、その地域から帰国した者が重症の急性呼吸器症状を発症した場合には、常に鳥インフルエンザへの感染を考慮すべきです。

WHOは、重症急性呼吸器感染症のサーベイランスを含むインフルエンザのサーベイランスの強化を継続するよう求めています。また、国際保健規則に基づき、人の感染例の報告を確実にを行うために、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討し、国の保健に関連した事前計

画の実行を継続するよう求めています。

鳥インフルエンザA(H7N9)に関する指針と、現時点における技術的な情報は、WHOのホームページに掲載されています。

鳥インフルエンザA(H7N9)の発生状況について(更新15)

2014年1月30日、2月1日 WHO(GAR)

1月30日及び2月1日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会および香港特別行政区の衛生防護センター(CHP)は、1月29日、鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染した患者が新たに6人発生し、このうち1人が死亡したとWHOに報告しました。さらに、1月30日、中国の国家衛生・計画出産委員会は感染者のうち7例(うち死亡者1人含む)が鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルス感染が検査によって確定したとの報告がありました。

1月29日に報告された患者の詳細は以下の通りです。

6人の患者はすべて男性です。患者の年齢層は2歳から63歳で、福建省(1人)、広東省(1人)、香港特別行政区(1人)、浙江省(3人)から報告されました。現在、患者のうち4人の容態は重篤です。また、患者のうち4人は家きんと接触があったか、生きた家きんのいる市場や環境に行ったことがあったと報告されました。

中国の国家衛生・計画出産委員会から報告された患者の詳細は下記の通りです。

- ・浙江省温州市の37歳の男性で農業従事者。1月19日に発症しました。1月27日に病院に入院し、1月28日に別の病院へ転院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場へ行ったことがありました。
- ・浙江省杭州市の男性で60歳。1月23日に発症しました。1月28日に病院に入院し、現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんと接触歴がありました。
- ・浙江省杭州市の63歳の男性。1月24日に発症しました。1月27日に病院に入院し、現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場へ行ったことがありました。
- ・福建省廈門(シヤメン)市の2歳8か月の男児。1月26日に発症しました。1月28日に病院に入院し、容態は軽症です。この患者の家族は、アヒルのと殺や販売を行っていました。
- ・広東省広州市の17歳の男性。1月22日に発症しました。1月27日に病院に入院し、現在、容態は重篤です。

香港特別行政区の衛生保護センター(CHP)から報告された患者の詳細は以下の通りです。

- ・基礎疾患を持つ75歳の男性。1月20日から26日までの期間、単独で深圳市を旅行し、1月26日に深圳市で発症しました。1月28日に香港の病院に入院し、1月29日に死亡しました。深圳滞在中は、生きた家きんのいる市場近くに住む親戚宅に滞在していました。香港での彼の自宅における接触者5人は無症状ですが、経過観察のため病院に入院しています。死亡した男性の旅行歴、接触歴について現在調査を行っており、それと並行し、病室での同室患者4名、医療スタッフ、救急スタッフを含む接触者を対象に、さらなる調査が行われています。予備調査の結果、彼は香港の外で感染したものと考えられています。

1月30日に報告された患者の詳細は以下の通りです。

7人のうち4人は男性です。患者の年齢層は56歳から78歳です。広東省(1人)、広西チワン族

自治区(1人)、江蘇省(1人)、浙江省(4人)から報告されました。広西省では、確定診断を受けた最初の症例です。現在6人の容態は重篤です。7人は家きんとの接触があったか、生きた家きんのいる市場へ行ったことがありました。

- ・浙江省寧波市の75歳の男性で農業従事者。1月21日に発症し、1月24日に病院に入院しました。現在容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場へ行ったことがありました。
- ・浙江省寧波市の76歳の男性。1月21日発症し、1月24日に病院に入院しました。現在容態は重篤です。生きた家きんのいる市場へ行ったことがありました。
- ・浙江省広州市の78歳の男性で農業従事者。1月25日発症し、1月27日に病院に入院しました。1月29日に別の病院に転院しました。現在容態は重篤です。生きた家きんのいる市場へ行ったことがありました。
- ・浙江省寧波市の64歳の男性。1月13日に発症し、1月16日に病院に入院しました。現在容態は重篤です。生きた家きんのいる市場へ行ったことがありました。
- ・江蘇省南京市の75歳の女性。1月18日に発症し、1月25日に病院に入院しました。現在容態は重篤です。生きた家きんのいる市場へ行ったことがありました。
- ・広東省江門市の67歳の女性。1月24日に発症し、1月25日に病院に入院しました。この患者は1月28日に死亡しました。生きた家きんとの接触がありました。
- ・広西省賀州市の56歳の女性。1月20日発症し、1月27日に病院に入院しました。現在容態は重篤です。生きた家きんのいる市場へ行ったことがありました。

現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

中国政府は、サーベイランス及び状況分析の強化、患者管理と治療の強化、市民とのリスクコミュニケーションや情報提供の実施、国際的な協力と情報交換の強化、科学的な研究の実施を行っています。

中国から香港に輸入された生きた家きんから鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスが検出されたと報告されており、生きた家きんからウイルスの感染が広がる可能性はありますが、現時点では、人や動物から鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスが国際的に広がっているという証拠はありません。

これまでに鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染した患者が報告された地域及びその近隣の地域では、特に、春節(旧正月)に関連して家きんの売買や輸送が増加すると予想され、これらの地域では今後も患者が散発的に発生することが予想されます。

WHOは、鳥インフルエンザが発生している国への渡航者に対し、農場への立ち入りや、生きた家きんのいる市場での動物との接触、家きんをと殺す場所への立ち入り、家きんやその他の動物の排泄物で汚染されていると考えられる地表との接触を避けるよう助言しています。また、渡航者は石鹸と水で手をよく洗い、食品の安全と衛生習慣を遵守すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

鳥インフルエンザが懸念される地域を渡航している者や、その地域から帰国した者が重症の急性呼吸器症状を発症した場合には、常に鳥インフルエンザへの感染を考慮すべきです。

WHOは、重症急性呼吸器感染症のサーベイランスを含むインフルエンザのサーベイランスの強化を継続するよう求めています。また、国際保健規則に基づき、人の感染例の報告を確実にを行うために、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討し、国の保健に関連した事前計

画の実行を継続するよう求めています。

鳥インフルエンザA(H7N9)に関する指針と、現時点における技術的な情報は、WHOのホームページに掲載されています。

鳥インフルエンザA(H7N9)の発生状況について(更新16)

2014年2月3日 WHO(GAR)

2月3日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の国家衛生・計画生産委員会は、鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染した患者が新たに9人発生したとWHOに報告しました。このうち1人が死亡しました。

患者の詳細は下記の通りです。

- ・浙江省杭州市の80歳の男性。1月19日に発症し、1月30日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんとの接触歴がありました。
- ・浙江省杭州市の54歳の男性。1月23日に発症し、1月26日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。
- ・広東省深圳(しんせん)市の6歳の男児。1月27日に発症しました。1月28日に黄岡港から渡航しようとした際、深圳の出入国検疫局で発見されました。患者の症状は軽症で、容態は安定しており、現在、自宅で隔離されて、治療を受けています。この患者は、生きた家きんとの接触歴がありました。
- ・広東省肇慶市の5歳の男児。1月29日に発症し、同日に病院に入院しました。容態は安定しています。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。
- ・広東省肇慶市の28歳の男性。1月24日に発症し、1月26日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。
- ・広東省仏山市の82歳の男性。1月22日に発症し、1月26日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。
- ・広東省広州市の59歳の男性。1月22日に発症し、1月26日に病院に入院しましたが、1月30日に死亡しました。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。
- ・広東省深圳市の81歳の女性。1月25日に発症し、1月29日に病院に入院しました。現在、深刻な容態です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。
- ・湖南省永州市の38歳の男性。1月24日に発症し、1月30日に病院に入院しました。現在、容態は重篤です。この患者は、生きた家きんのいる市場に行ったことがありました。

現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

中国政府は、サーベイランス及び状況分析の強化、患者管理と治療の強化、市民とのリスクコミュニケーションや情報提供の実施、国際的な協力と情報交換の強化、科学的な研究の実施を行っています。

中国から香港に輸入された生きた家きんから鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスが検出されたと報告されており、生きた家きんからウイルスの感染が広がる可能性はありますが、現時点では、人や動物から鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスが国際的に広がってはいません。

これまでに鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスに感染した患者が報告された地域及びその近隣の地域では、特に、春節(旧正月)に関連して家きんの売買や輸送が増加すると予想され、これらの地域では今後も患者が散発的に発生することが予想されます。

WHOは、鳥インフルエンザが発生している国への渡航者に対し、農場への立ち入りや、生き

た家きんのいる市場での動物との接触、家きんと殺す場所への立ち入り、家きんやその他の動物の排泄物で汚染されていると考えられる地表との接触を避けるよう助言しています。また、渡航者は石鹸と水で手をよく洗い、食品の安全と衛生習慣を遵守すべきです。

WHOは、この事例に関して、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

鳥インフルエンザが懸念される地域を渡航している者や、その地域から帰国した者が重症の急性呼吸器症状を発症した場合には、常に鳥インフルエンザへの感染を考慮すべきです。

WHOは、重症急性呼吸器感染症のサーベイランスを含むインフルエンザのサーベイランスの強化を継続するよう求めています。また、国際保健規則に基づき、人の感染例の報告を確実にを行うために、通常と異なる傾向がみられた場合には慎重に検討し、国の保健に関連した事前計画の実行を継続するよう求めています。

鳥インフルエンザA(H7N9)に関する指針と、現時点における技術的な情報は、WHOのホームページに掲載されています。



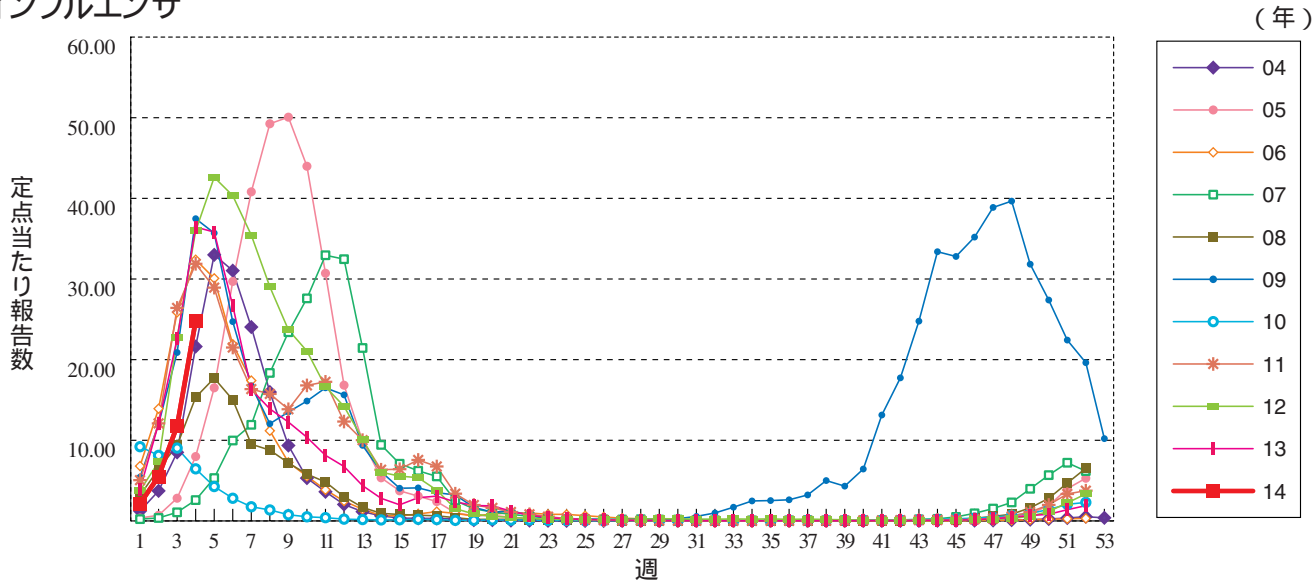
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>
でご覧いただけます。

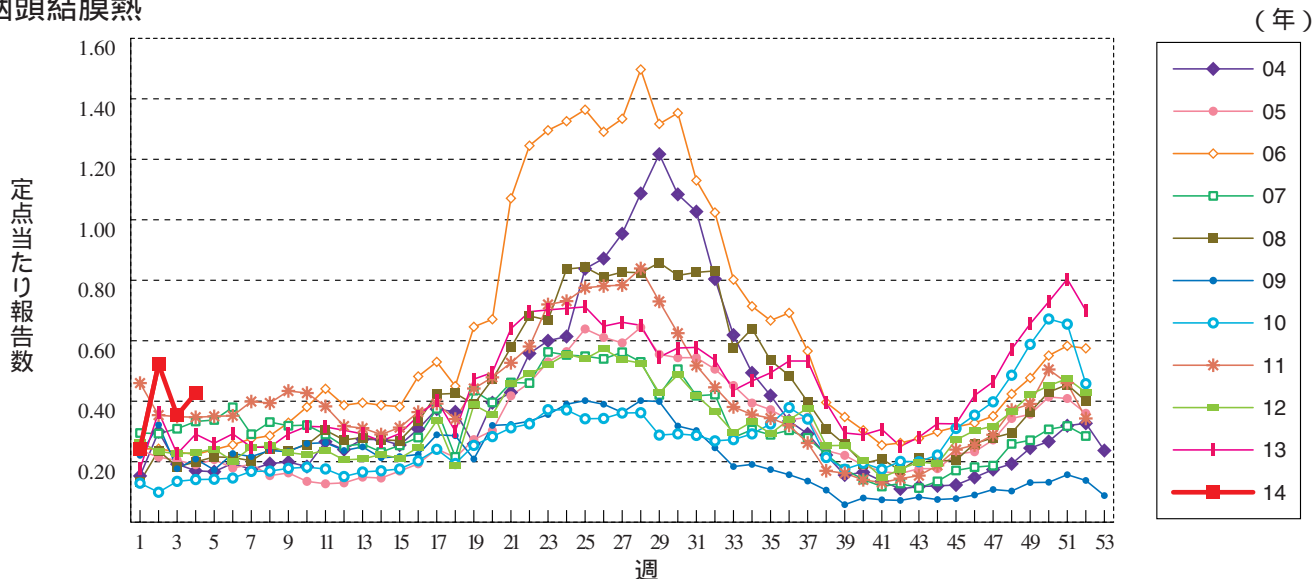


グラフ総覧(4週)

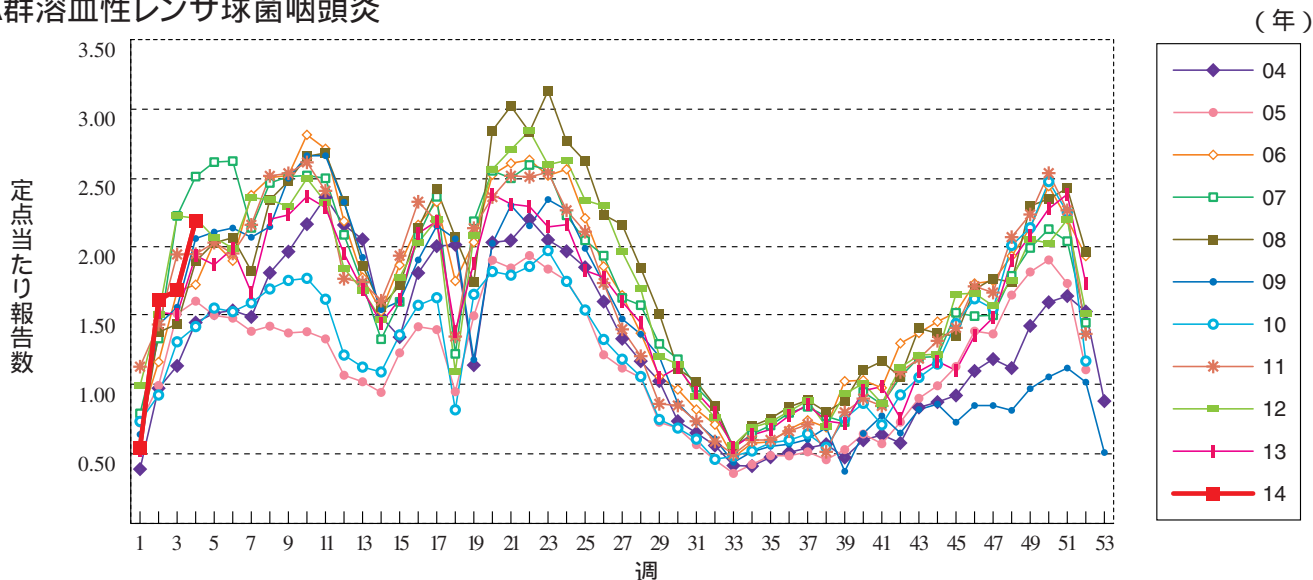
インフルエンザ



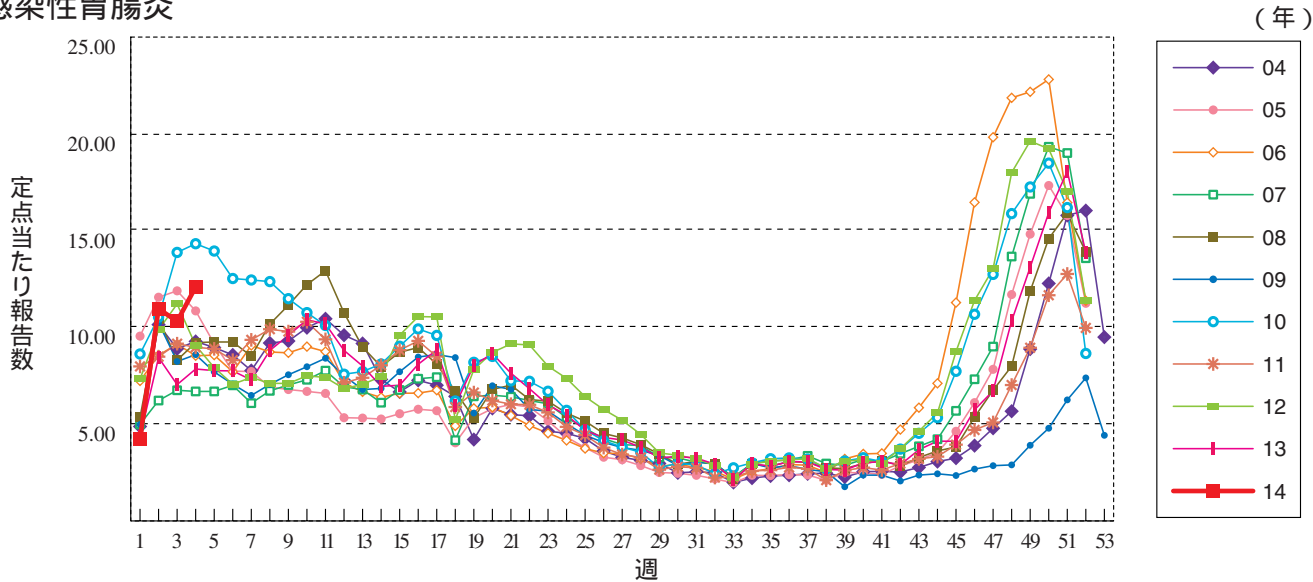
咽頭結膜熱



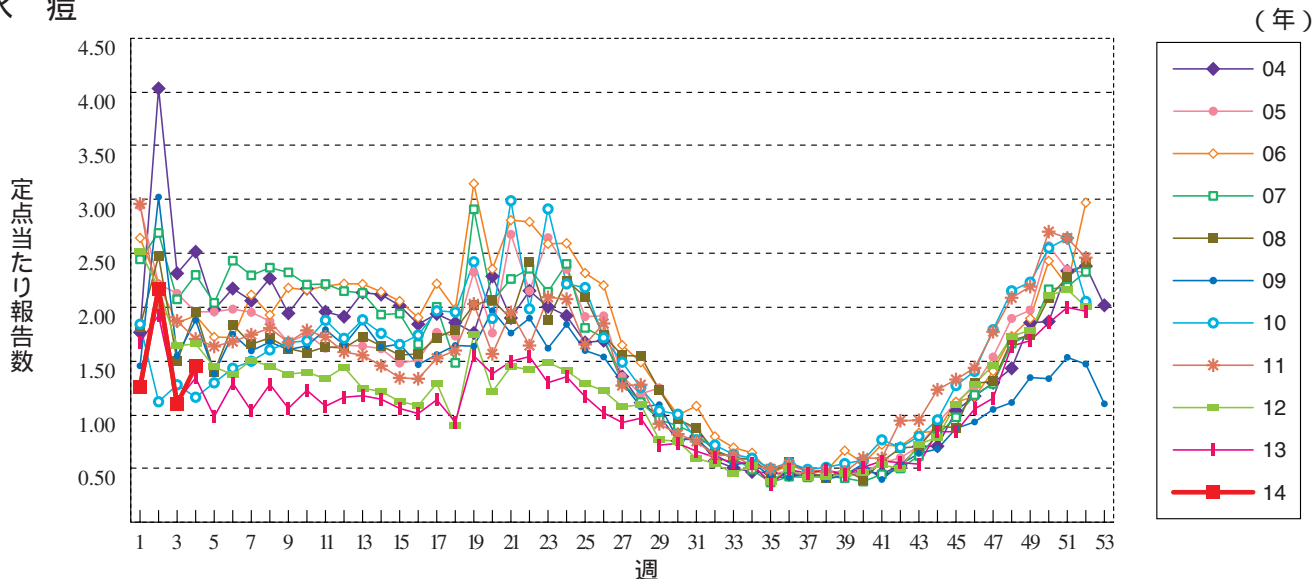
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



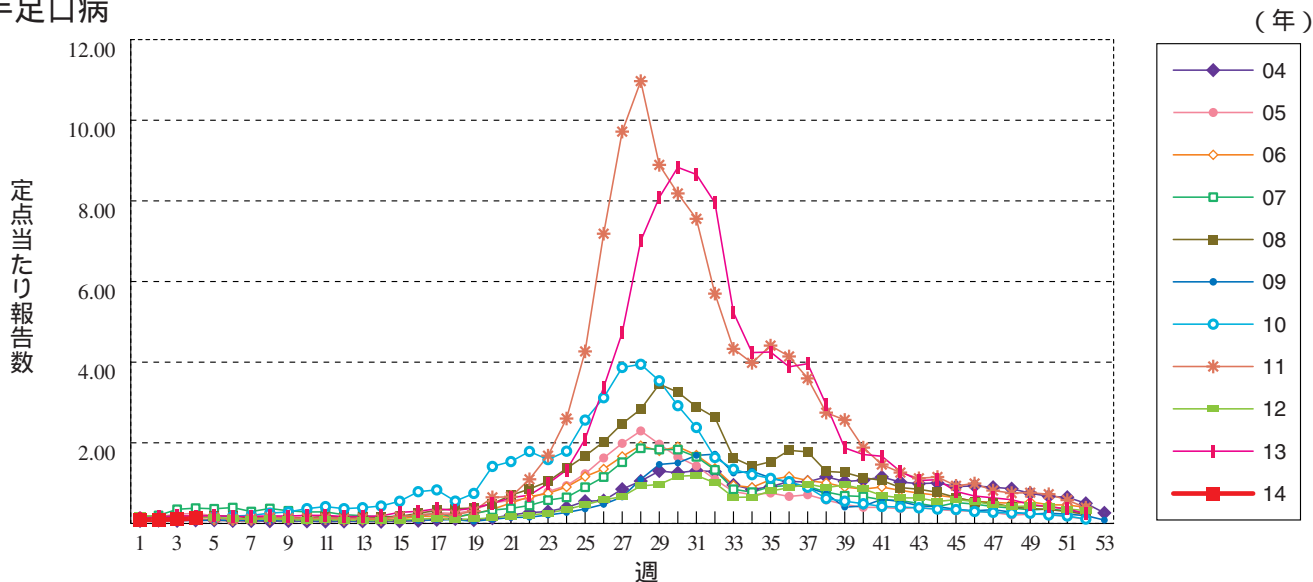
感染性胃腸炎



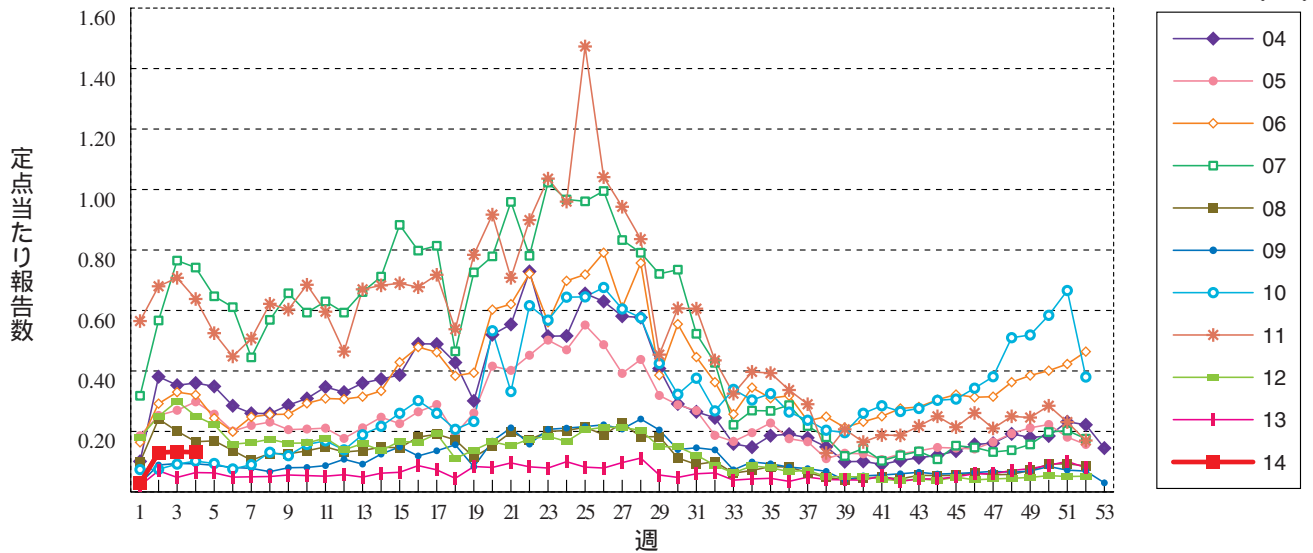
水痘



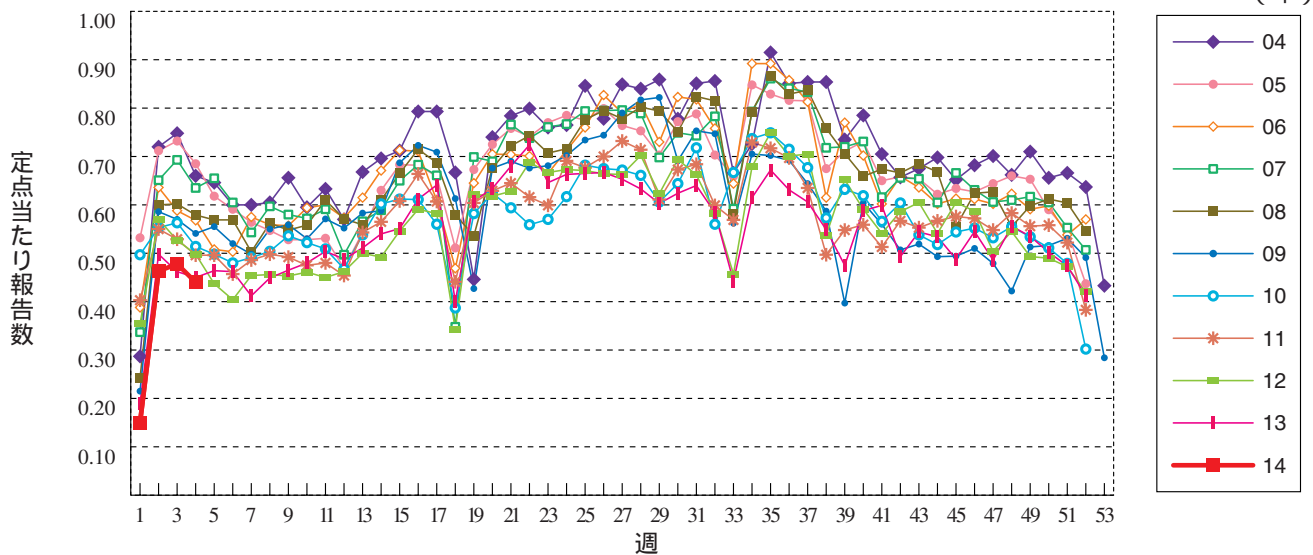
手足口病



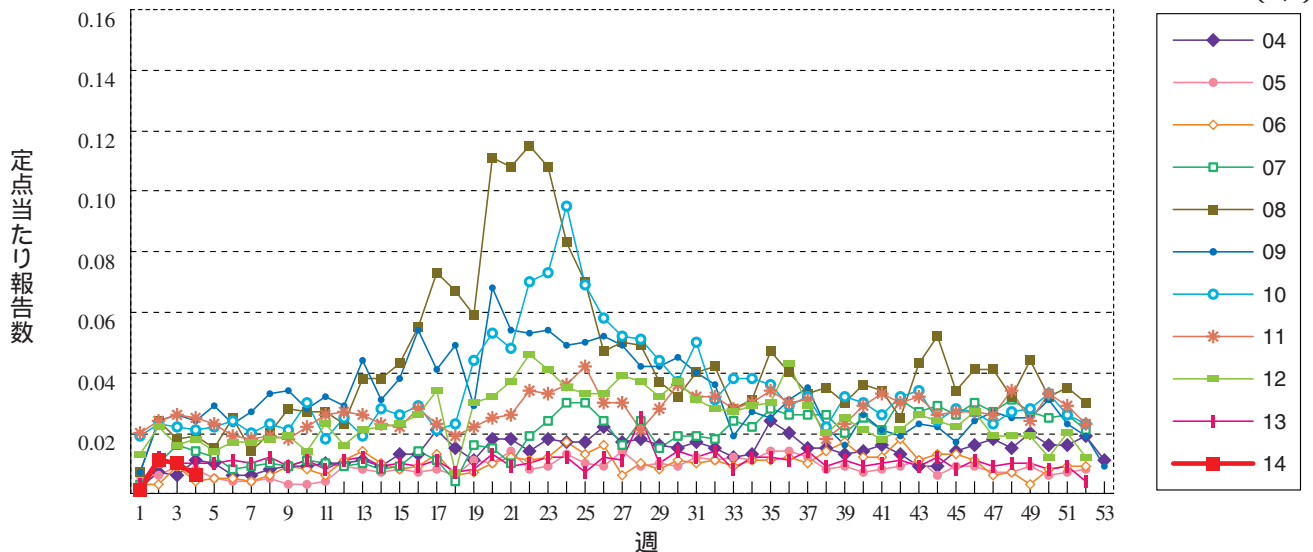
伝染性紅斑



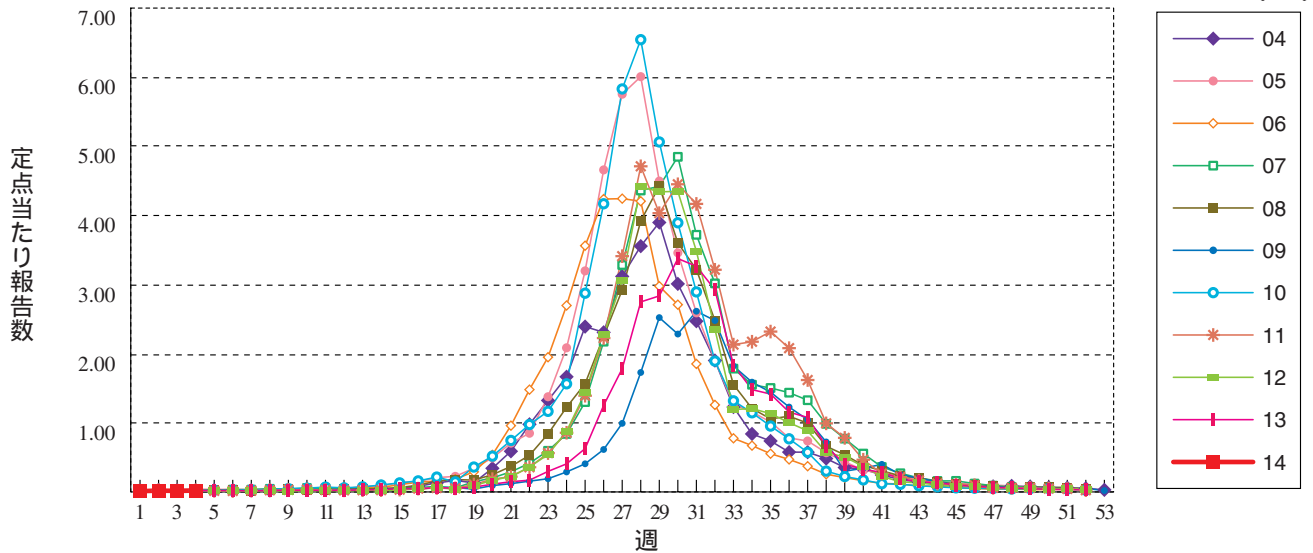
突発性発しん



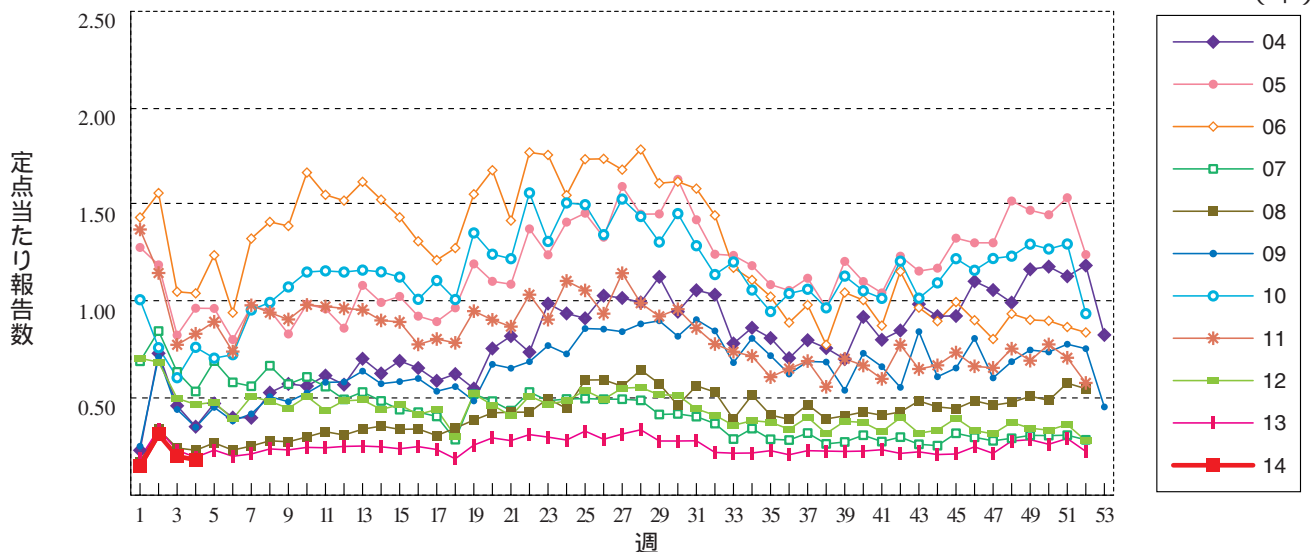
百日咳



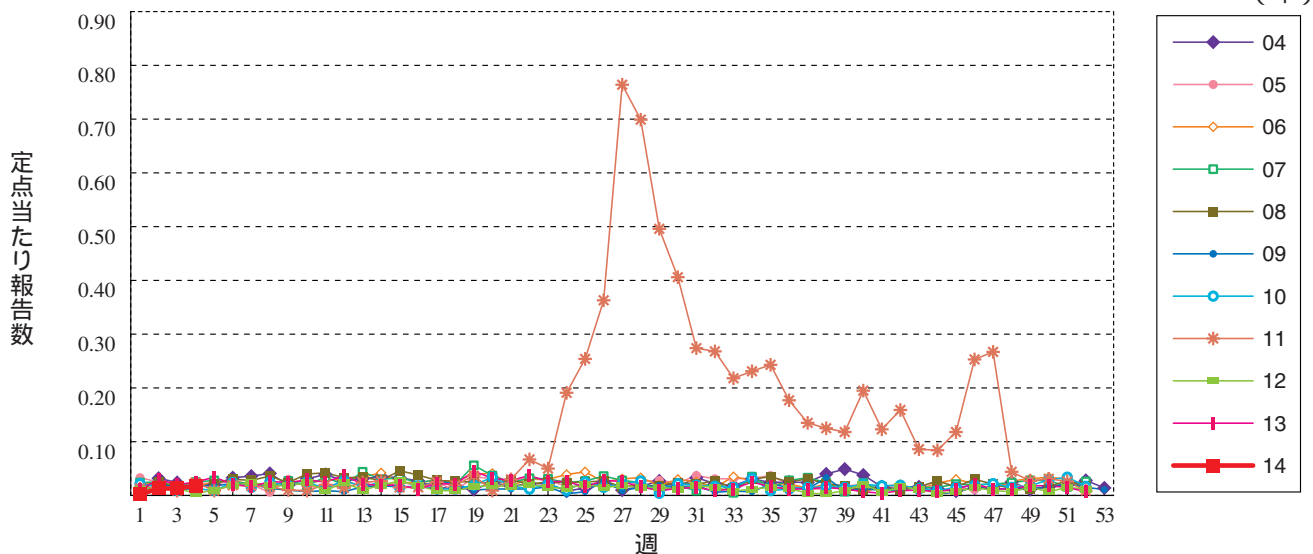
ヘルパンギーナ



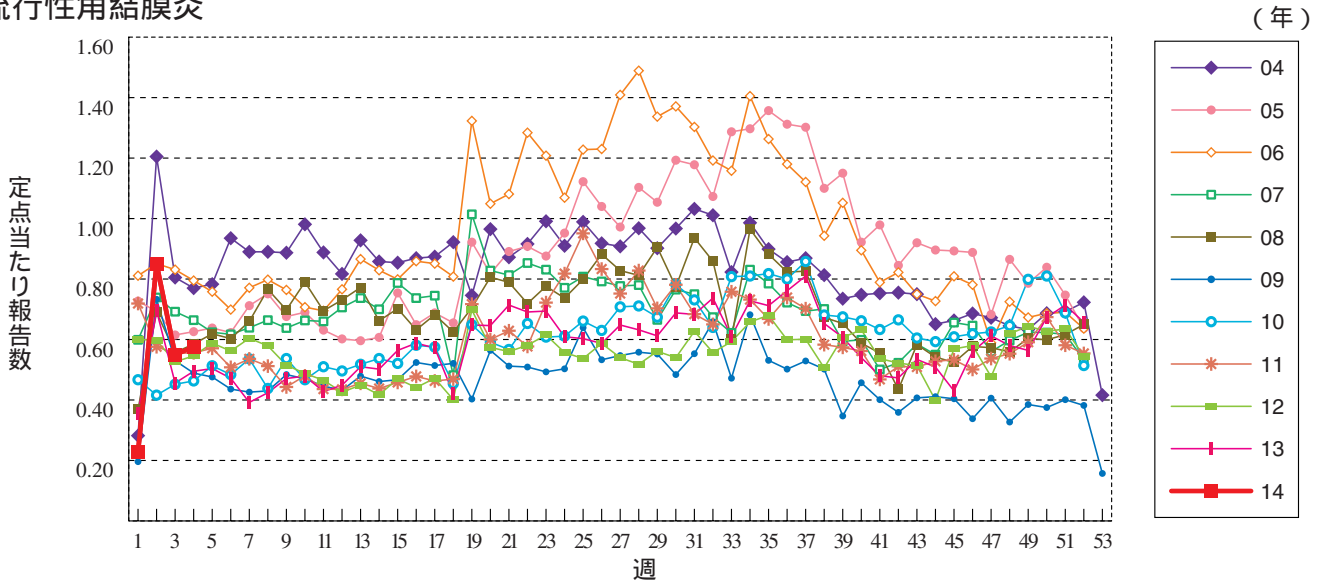
流行性耳下腺炎



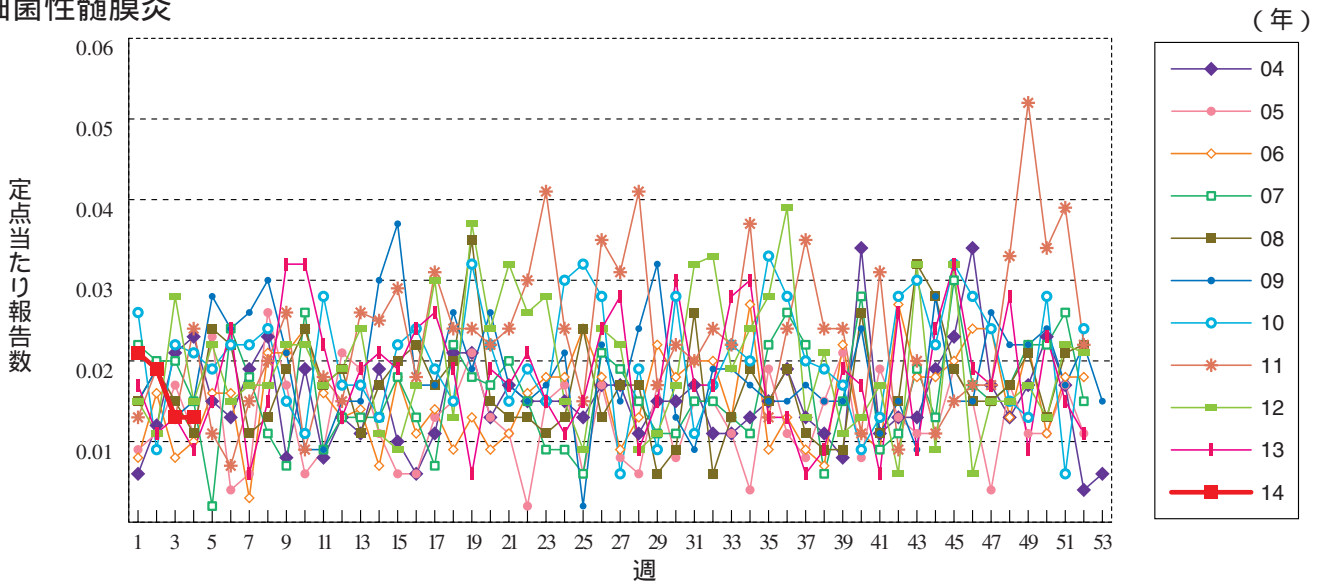
急性出血性結膜炎



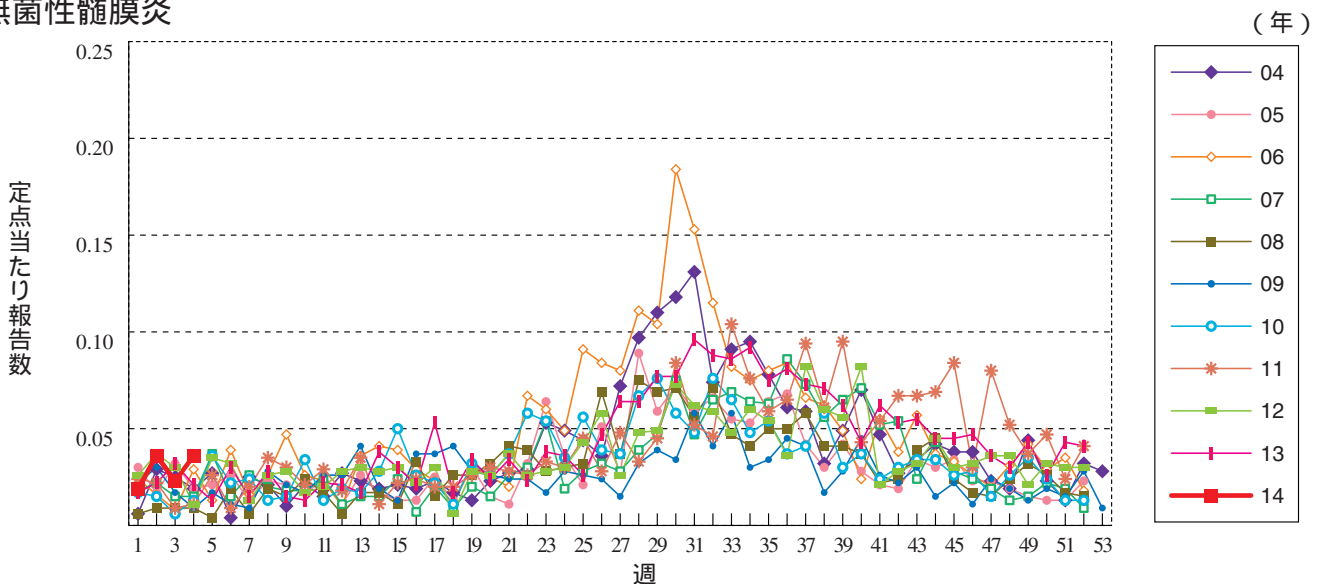
流行性角結膜炎



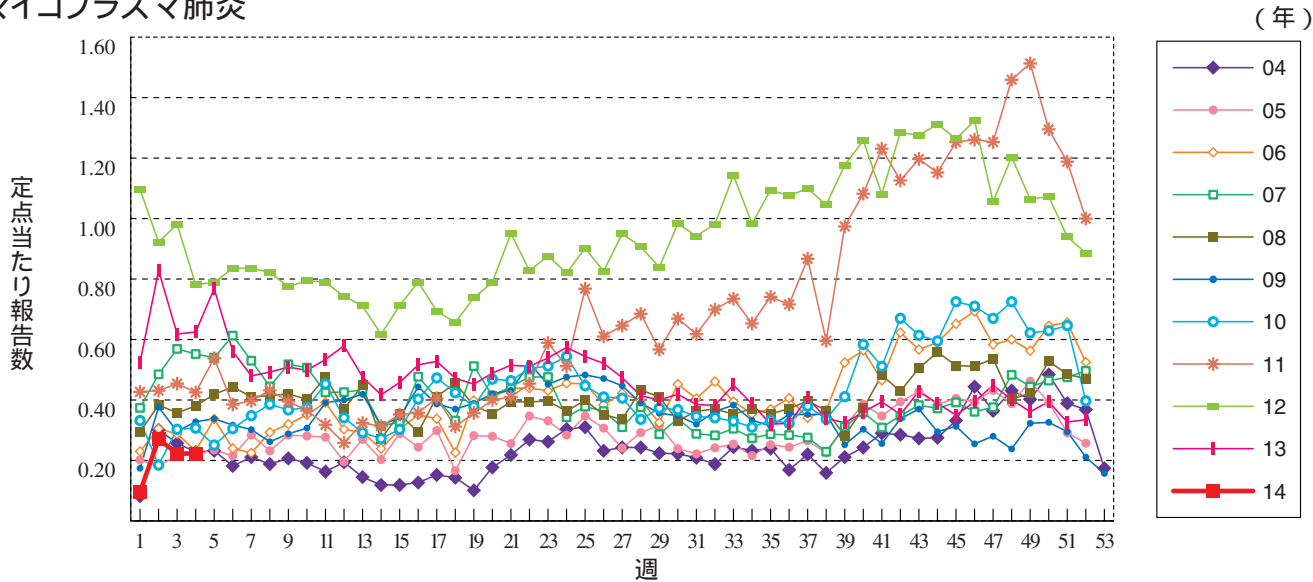
細菌性髄膜炎



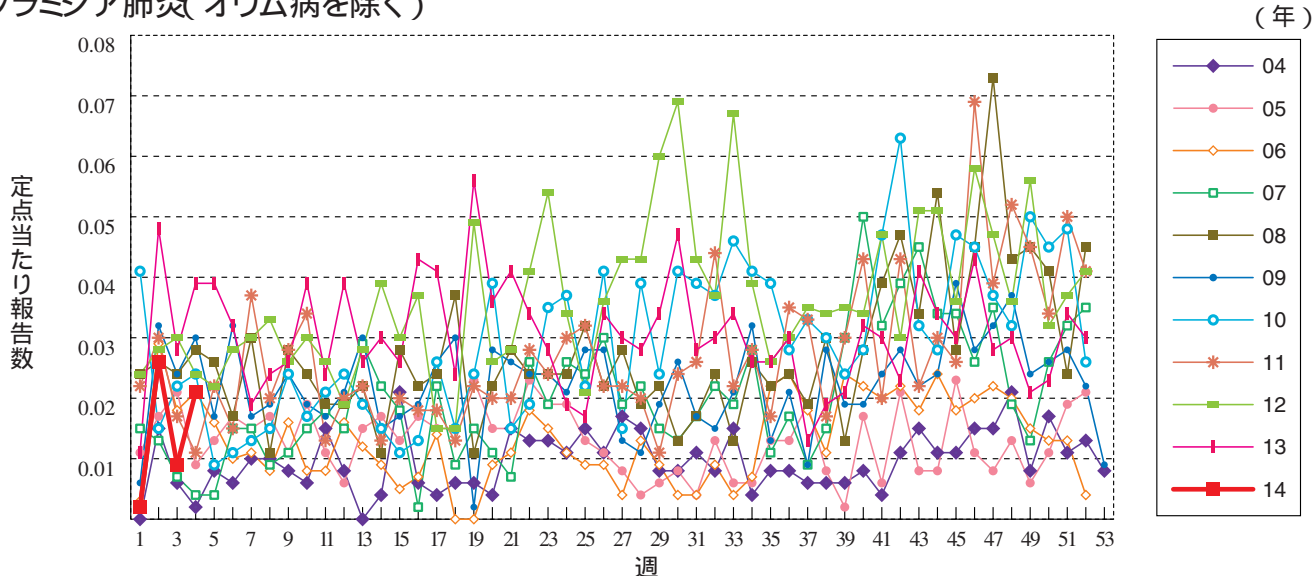
無菌性髄膜炎



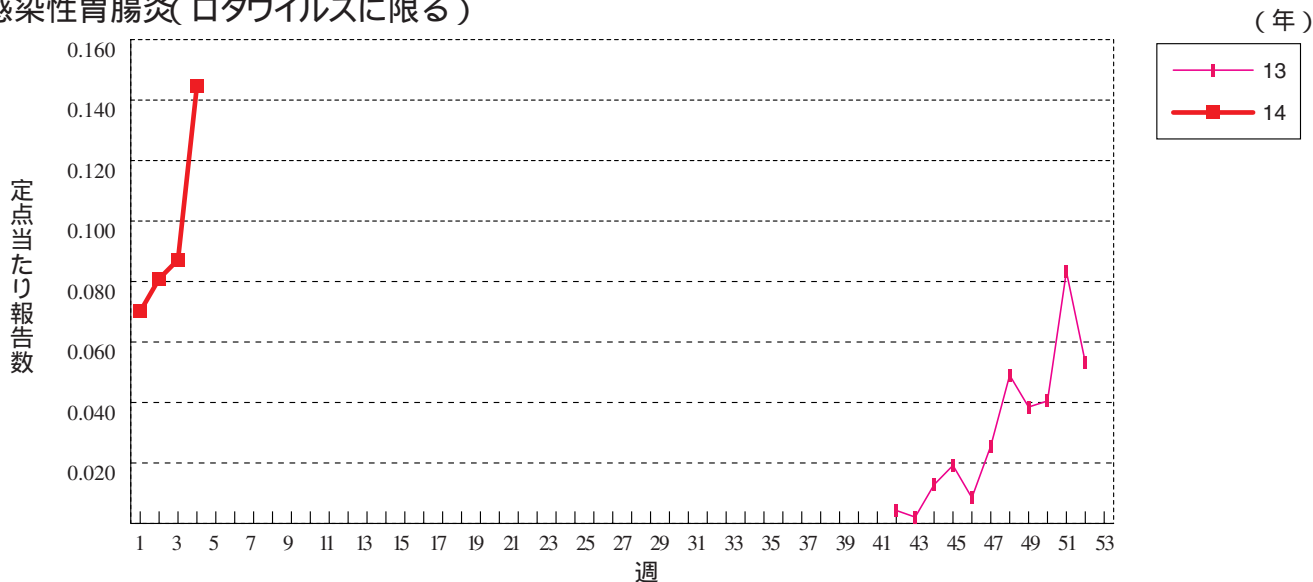
マイコプラズマ肺炎



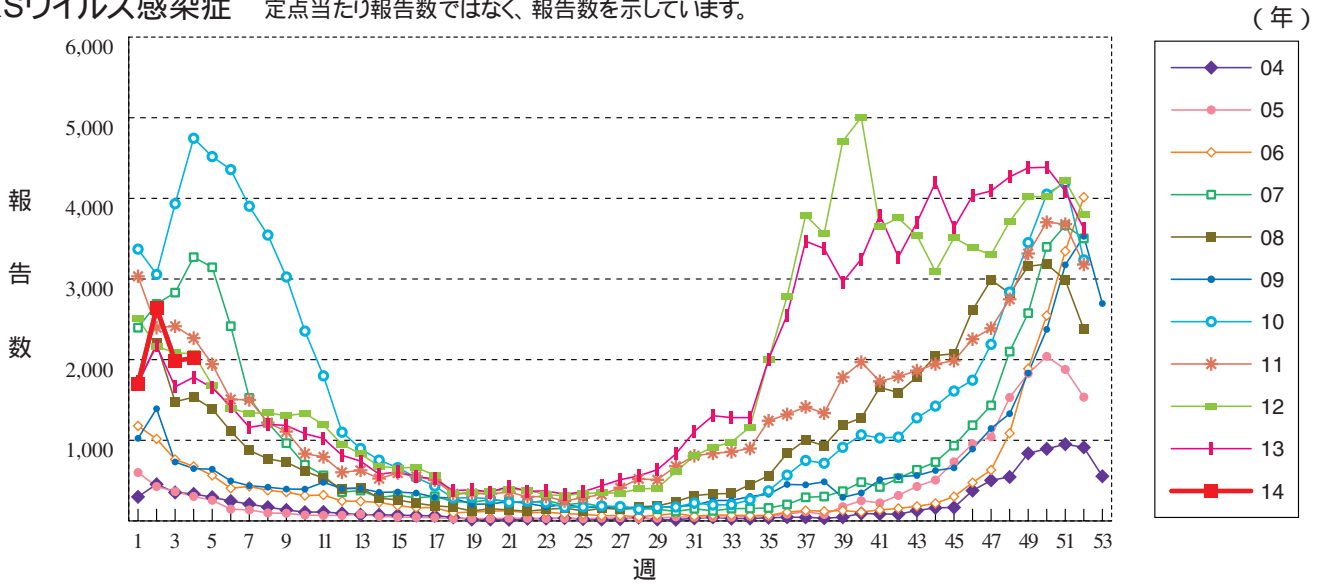
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





4週のデータ

注) 表中の報告数は1月29日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2014年4週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 瘡		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	315	1189
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	30
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	15
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	10
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	23
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	22
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	21
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	69
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	79
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	165
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	101
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	21
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	22
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	20
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	97
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	16
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	17
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	30
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	68
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	52
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	10
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	13
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	16
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	21
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	11
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	37
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	12
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	20
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	14
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年4週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	8	28	1	4	1	1	4	8
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	2	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	4	1	2	1	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年4週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*2013年3月4日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年4週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		重症熱性血小板 減少症候群*		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1及びH7N9 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年4週

	つつかが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	13	3	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年4週

	鼻 疽		ブルセラ症		ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2014年4週

	リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	16	73	-	2	-	-	12	49	3	13	10	36
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	3	3
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	1	-	1	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	1	1	-	-	-	6
東京都	-	-	-	-	-	-	4	11	-	-	-	-	2	6	-	4	1	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	3	-	1	1	3	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
富山県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	8	1	1	1	2	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	2	6	-	-	-	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	3	5	-	-	-	-	1	1	2	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*2013年4月1日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年4週

	クリプトスפורジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		侵襲性インフルエンザ菌感染症*		侵襲性髄膜炎菌感染症*		侵襲性肺炎球菌感染症*		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	1	7	3	18	16	65	1	2	4	21	1	4	15	144	-	5
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	3	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	2	6	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-
東京都	-	2	-	-	1	6	2	26	-	-	-	2	-	1	2	18	-	2
神奈川県	-	-	-	-	1	2	2	6	-	-	-	1	-	1	-	18	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	1	5	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	2	-	-	-	11	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	4	-	-	3	8	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	2	13	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	6	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	5	1	1	-	1	-	-	1	4	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	3	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-

*2013年5月6日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年4週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風 し ん		麻 し ん		鳥インフル エンザ(H7N9)*	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	13	64	-	6	-	-	1	3	9	32	18	46	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	2	2	3	-	-
千葉県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	2	1	2	-	-
東京都	8	26	-	1	-	-	-	-	4	7	-	1	-	-
神奈川県	1	5	-	-	-	-	1	1	3	8	2	5	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	1	2	6	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	17	-	-
大阪府	2	7	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-
奈良県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	3	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2014年4週

	インフルエンザ*		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	報告数	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	122618	24.81	2018	1344	0.43	6898	2.19	38064	12.09	4569	1.45	408	0.13	412	0.13	1385	0.44	
北海道	2591	11.41	99	64	0.45	508	3.55	473	3.31	240	1.68	7	0.05	1	0.01	47	0.33	
青森県	1373	21.45	8	11	0.27	61	1.49	446	10.88	80	1.95	2	0.05	8	0.20	11	0.27	
岩手県	467	7.30	7	9	0.23	69	1.73	426	10.65	121	3.03	-	-	10	0.25	16	0.40	
宮城県	1060	11.40	26	9	0.16	194	3.34	953	16.43	54	0.93	1	0.02	45	0.78	43	0.74	
秋田県	616	11.20	5	7	0.20	50	1.43	258	7.37	34	0.97	-	-	-	-	6	0.17	
山形県	566	11.79	8	17	0.57	192	6.40	531	17.70	39	1.30	1	0.03	3	0.10	25	0.83	
福島県	1251	16.46	48	10	0.22	78	1.73	496	11.02	62	1.38	-	-	9	0.20	13	0.29	
茨城県	2411	20.09	26	10	0.13	143	1.91	1176	15.68	97	1.29	4	0.05	9	0.12	22	0.29	
栃木県	1450	19.08	13	9	0.19	49	1.02	506	10.54	74	1.54	2	0.04	-	-	20	0.42	
群馬県	2632	26.86	24	14	0.23	113	1.88	575	9.58	59	0.98	-	-	4	0.07	21	0.35	
埼玉県	8322	33.69	48	35	0.23	429	2.77	1908	12.31	225	1.45	8	0.05	23	0.15	72	0.46	
千葉県	6406	30.08	47	47	0.35	387	2.89	1775	13.25	179	1.34	15	0.11	16	0.12	59	0.44	
東京都	12317	29.68	85	57	0.22	622	2.37	3397	12.97	298	1.14	9	0.03	87	0.33	118	0.45	
神奈川県	10558	31.52	47	40	0.19	290	1.39	2656	12.77	252	1.21	15	0.07	48	0.23	100	0.48	
新潟県	1439	14.99	60	62	1.02	335	5.49	903	14.80	188	3.08	1	0.02	59	0.97	26	0.43	
富山県	888	18.50	29	27	0.93	93	3.21	587	20.24	44	1.52	2	0.07	34	1.17	8	0.28	
石川県	759	15.81	28	26	0.90	80	2.76	307	10.59	71	2.45	2	0.07	-	-	9	0.31	
福井県	678	21.19	19	23	1.05	78	3.55	420	19.09	36	1.64	4	0.18	-	-	12	0.55	
山梨県	974	24.35	8	1	0.04	26	1.08	281	11.71	7	0.29	1	0.04	-	-	6	0.25	
長野県	2320	26.67	34	10	0.19	143	2.65	698	12.93	76	1.41	1	0.02	1	0.02	25	0.46	
岐阜県	2183	25.09	32	15	0.28	55	1.04	418	7.89	35	0.66	3	0.06	1	0.02	16	0.30	
静岡県	3582	25.77	46	34	0.38	112	1.26	1265	14.21	138	1.55	-	-	4	0.04	31	0.35	
愛知県	5058	25.94	99	94	0.52	265	1.46	1918	10.60	194	1.07	14	0.08	6	0.03	83	0.46	
三重県	1635	22.71	25	27	0.60	55	1.22	586	13.02	88	1.96	-	-	-	-	26	0.58	
滋賀県	1660	31.32	13	9	0.28	40	1.25	374	11.69	36	1.13	11	0.34	-	-	12	0.38	
京都府	3007	24.65	20	22	0.30	94	1.29	681	9.33	85	1.16	7	0.10	4	0.05	20	0.27	
大阪府	7876	25.65	157	67	0.34	443	2.24	1976	9.98	276	1.39	8	0.04	2	0.01	92	0.46	
兵庫県	5119	25.85	54	44	0.34	130	1.02	1477	11.54	177	1.38	8	0.06	9	0.07	37	0.29	
奈良県	1147	21.24	19	11	0.32	41	1.21	301	8.85	34	1.00	1	0.03	1	0.03	2	0.06	
和歌山県	940	18.80	13	6	0.19	20	0.65	176	5.68	46	1.48	2	0.06	-	-	5	0.16	
鳥取県	334	11.52	20	23	1.21	82	4.32	220	11.58	13	0.68	1	0.05	2	0.11	7	0.37	
島根県	472	12.42	10	43	1.87	38	1.65	299	13.00	41	1.78	-	-	-	-	16	0.70	
岡山県	2053	24.73	15	24	0.45	44	0.83	549	10.36	77	1.45	3	0.06	2	0.04	21	0.40	
広島県	1796	15.62	67	69	0.96	119	1.65	938	13.03	86	1.19	3	0.04	-	-	30	0.42	
山口県	1149	16.90	108	15	0.32	168	3.57	649	13.81	84	1.79	6	0.13	1	0.02	29	0.62	
徳島県	859	22.61	36	5	0.22	21	0.91	260	11.30	26	1.13	-	-	-	-	17	0.74	
香川県	610	12.45	23	18	0.60	38	1.27	452	15.07	38	1.27	1	0.03	2	0.07	5	0.17	
愛媛県	981	16.08	26	28	0.76	85	2.30	511	13.81	70	1.89	3	0.08	1	0.03	29	0.78	
高知県	1003	20.90	40	5	0.17	11	0.37	467	15.57	28	0.93	1	0.03	3	0.10	7	0.23	
福岡県	6374	32.19	177	53	0.44	426	3.55	1546	12.88	243	2.03	78	0.65	9	0.08	87	0.73	
佐賀県	1357	34.79	27	23	1.00	82	3.57	226	9.83	62	2.70	11	0.48	1	0.04	15	0.65	
長崎県	2273	32.47	27	32	0.73	69	1.57	468	10.64	51	1.16	26	0.59	1	0.02	16	0.36	
熊本県	2300	28.75	62	45	0.90	117	2.34	809	16.18	64	1.28	53	1.06	3	0.06	26	0.52	
大分県	2298	39.62	32	15	0.42	68	1.89	772	21.44	59	1.64	6	0.17	2	0.06	31	0.86	
宮崎県	2234	37.86	119	38	1.06	102	2.83	556	15.44	108	3.00	58	1.61	-	-	30	0.83	
鹿児島県	2101	22.59	70	83	1.51	156	2.84	1169	21.25	100	1.82	24	0.44	-	-	30	0.55	
沖縄県	3139	54.12	12	8	0.24	77	2.26	229	6.74	74	2.18	5	0.15	1	0.03	6	0.18	

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2014年4週

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	20	0.01	63	0.02	575	0.18	12	0.02	392	0.57	6	0.01	17	0.04	105	0.22	10	0.02
北海道	1	0.01	1	0.01	9	0.06	-	-	7	0.24	-	-	-	-	1	0.04	-	-
青森県	-	-	-	-	14	0.34	1	0.09	10	0.91	-	-	-	-	1	0.17	-	-
岩手県	-	-	-	-	14	0.35	-	-	4	0.29	-	-	-	-	11	0.58	-	-
宮城県	-	-	-	-	14	0.24	-	-	-	-	-	-	-	9	0.75	-	-	
秋田県	-	-	-	-	4	0.11	-	-	3	0.43	-	-	-	3	0.38	-	-	
山形県	-	-	-	-	8	0.27	-	-	-	-	-	-	2	0.20	1	0.10	-	-
福島県	-	-	-	-	27	0.60	-	-	7	0.58	-	-	-	5	0.71	1	0.14	
茨城県	2	0.03	1	0.01	4	0.05	1	0.06	15	0.88	-	-	-	5	0.38	-	-	
栃木県	-	-	-	-	4	0.08	-	-	13	1.08	-	-	1	0.14	3	0.43	2	0.29
群馬県	1	0.02	1	0.02	7	0.12	-	-	19	1.36	-	-	-	3	0.38	-	-	
埼玉県	1	0.01	1	0.01	25	0.16	1	0.02	15	0.36	-	-	-	4	0.40	1	0.10	
千葉県	1	0.01	-	-	46	0.34	-	-	20	0.59	-	-	1	0.13	1	0.13	-	-
東京都	1	0.00	4	0.02	34	0.13	-	-	14	0.38	-	-	2	0.08	4	0.16	-	-
神奈川県	-	-	-	-	29	0.14	1	0.02	39	0.93	-	-	-	1	0.10	-	-	
新潟県	-	-	1	0.02	4	0.07	1	0.10	2	0.20	-	-	-	4	0.31	3	0.23	
富山県	-	-	3	0.10	-	-	-	-	12	1.71	-	-	-	6	1.20	-	-	
石川県	-	-	-	-	5	0.17	-	-	1	0.14	-	-	-	1	0.20	-	-	
福井県	-	-	-	-	24	1.09	-	-	1	0.33	1	0.17	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.11	-	-	-	1	0.10	-	-	
長野県	-	-	-	-	3	0.06	-	-	6	0.55	-	-	-	6	0.55	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	8	0.15	-	-	4	0.36	-	-	1	0.20	1	0.20	-	-
静岡県	2	0.02	2	0.02	7	0.08	-	-	9	0.41	-	-	-	1	0.10	1	0.10	
愛知県	1	0.01	1	0.01	44	0.24	2	0.06	4	0.12	-	-	-	4	0.29	-	-	
三重県	-	-	1	0.02	4	0.09	-	-	3	0.25	-	-	-	1	0.11	-	-	
滋賀県	-	-	1	0.03	3	0.09	-	-	3	0.38	-	-	1	0.14	1	0.14	-	-
京都府	-	-	-	-	4	0.05	-	-	19	1.12	-	-	3	0.43	-	-	-	
大阪府	3	0.02	6	0.03	21	0.11	1	0.02	13	0.25	-	-	1	0.06	1	0.06	-	-
兵庫県	1	0.01	-	-	9	0.07	-	-	21	0.60	1	0.09	-	1	0.09	-	-	
奈良県	-	-	1	0.03	3	0.09	-	-	1	0.11	-	-	1	0.17	-	-	-	
和歌山県	-	-	3	0.10	-	-	1	0.25	2	0.50	-	-	-	4	0.36	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	1	0.04	-	-	-	-	-	-	1	0.13	2	0.25	-	-
岡山県	-	-	-	-	4	0.08	1	0.08	10	0.83	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	16	0.22	-	-	14	0.74	-	-	1	0.05	1	0.05	-	-
山口県	-	-	1	0.02	5	0.11	-	-	2	0.25	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	1	0.03	2	0.07	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	
愛媛県	-	-	1	0.03	5	0.14	-	-	20	2.50	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	44	1.47	-	-	-	-	-	-	1	0.13	2	0.25	-	-
福岡県	-	-	6	0.05	61	0.51	1	0.04	7	0.27	-	-	-	1	0.08	-	-	
佐賀県	-	-	3	0.13	7	0.30	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	1	0.02	3	0.07	17	0.39	1	0.13	9	1.13	-	-	-	5	0.42	-	-	
熊本県	1	0.02	13	0.26	4	0.08	-	-	20	2.22	2	0.13	-	1	0.07	1	0.07	
大分県	-	-	4	0.11	14	0.39	-	-	1	0.20	-	-	-	3	0.27	-	-	
宮崎県	-	-	1	0.03	5	0.14	-	-	17	2.83	1	0.14	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	2	0.04	3	0.05	-	-	10	1.43	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	3	0.09	1	0.03	9	0.26	-	-	12	1.20	1	0.14	1	0.14	5	0.71	1	0.14

*病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年10月14日より届出対象疾患となりました。

報告数・定点当り報告数,
疾病・都道府県別 2014年4週

	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	
	報告数	定点当り
総数	68	0.14
北海道	2	0.09
青森県	1	0.17
岩手県	11	0.58
宮城県	5	0.42
秋田県	3	0.38
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	3	0.38
埼玉県	-	-
千葉県	7	0.88
東京都	4	0.16
神奈川県	3	0.30
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	1	0.07
三重県	-	-
滋賀県	2	0.29
京都府	2	0.29
大阪府	2	0.12
兵庫県	2	0.18
奈良県	2	0.33
和歌山県	1	0.09
鳥取県	-	-
島根県	1	0.13
岡山県	1	0.20
広島県	5	0.24
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	1	0.20
愛媛県	-	-
高知県	3	0.38
福岡県	-	-
佐賀県	2	0.33
長崎県	-	-
熊本県	2	0.13
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	2	0.17
沖縄県	-	-

報告数・疾病・都道府県別
2014年4週

	インフルエンザ (入院患者)	
	報告数	
総数	807	
北海道	15	
青森県	10	
岩手県	19	
宮城県	17	
秋田県	16	
山形県	8	
福島県	8	
茨城県	26	
栃木県	12	
群馬県	28	
埼玉県	22	
千葉県	33	
東京都	61	
神奈川県	22	
新潟県	9	
富山県	10	
石川県	8	
福井県	5	
山梨県	10	
長野県	32	
岐阜県	21	
静岡県	14	
愛知県	41	
三重県	10	
滋賀県	4	
京都府	12	
大阪府	58	
兵庫県	19	
奈良県	6	
和歌山県	13	
鳥取県	16	
島根県	10	
岡山県	10	
広島県	23	
山口県	5	
徳島県	11	
香川県	3	
愛媛県	13	
高知県	8	
福岡県	27	
佐賀県	6	
長崎県	14	
熊本県	19	
大分県	10	
宮崎県	14	
鹿児島県	14	
沖縄県	35	

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2014年4週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2014年4週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第16巻 第4号 2014年2月7日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症疫学センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>
 <国立感染症研究所 感染症疫学センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症疫学センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。